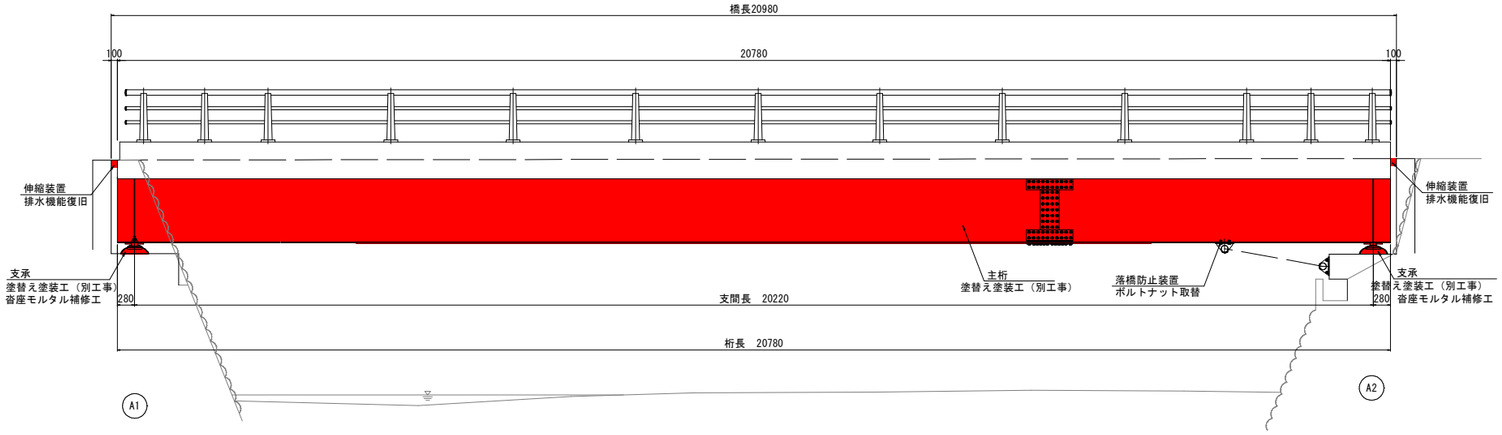
出合橋　対策一般図

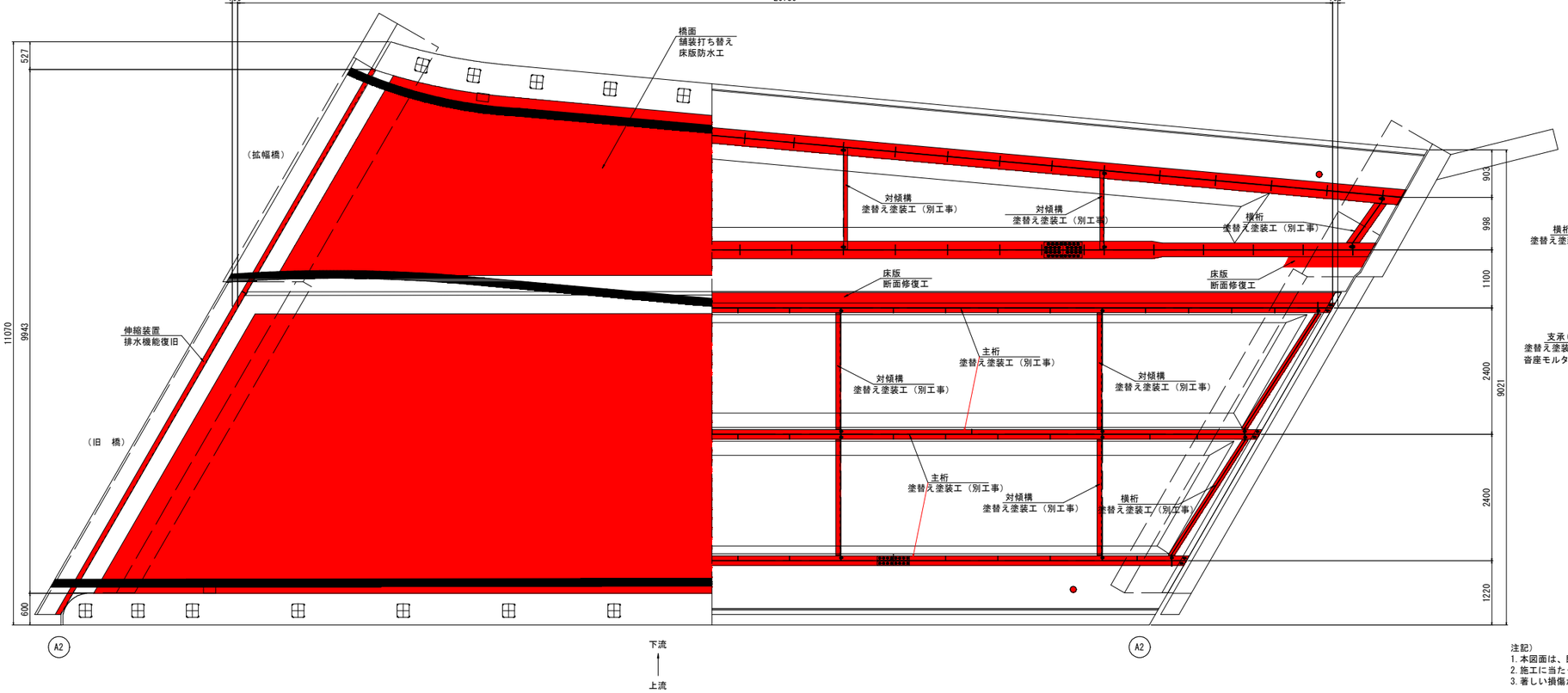
側　面　図（上流側）

S=1/50



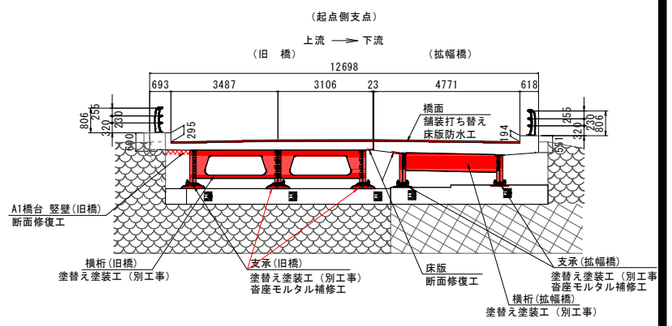
平　面　図

S=1/50



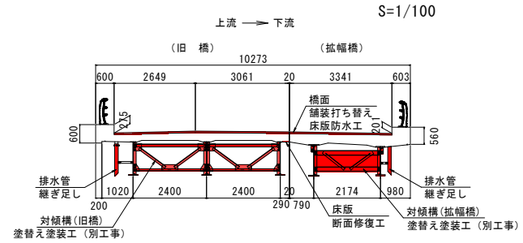
起点側断面図

S=1/100



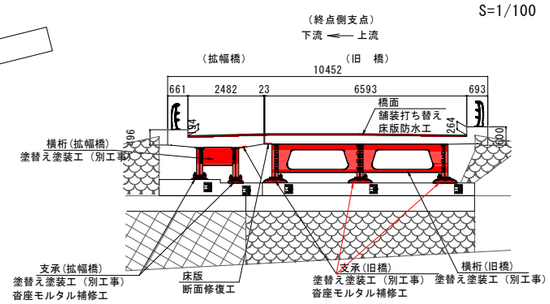
断面図（中間部）

S=1/100



終点側断面図

S=1/100



注記）
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査・寸法計測を行い確認すること。
3. 著しい損傷が見られた場合は、別途発注者と協議すること。

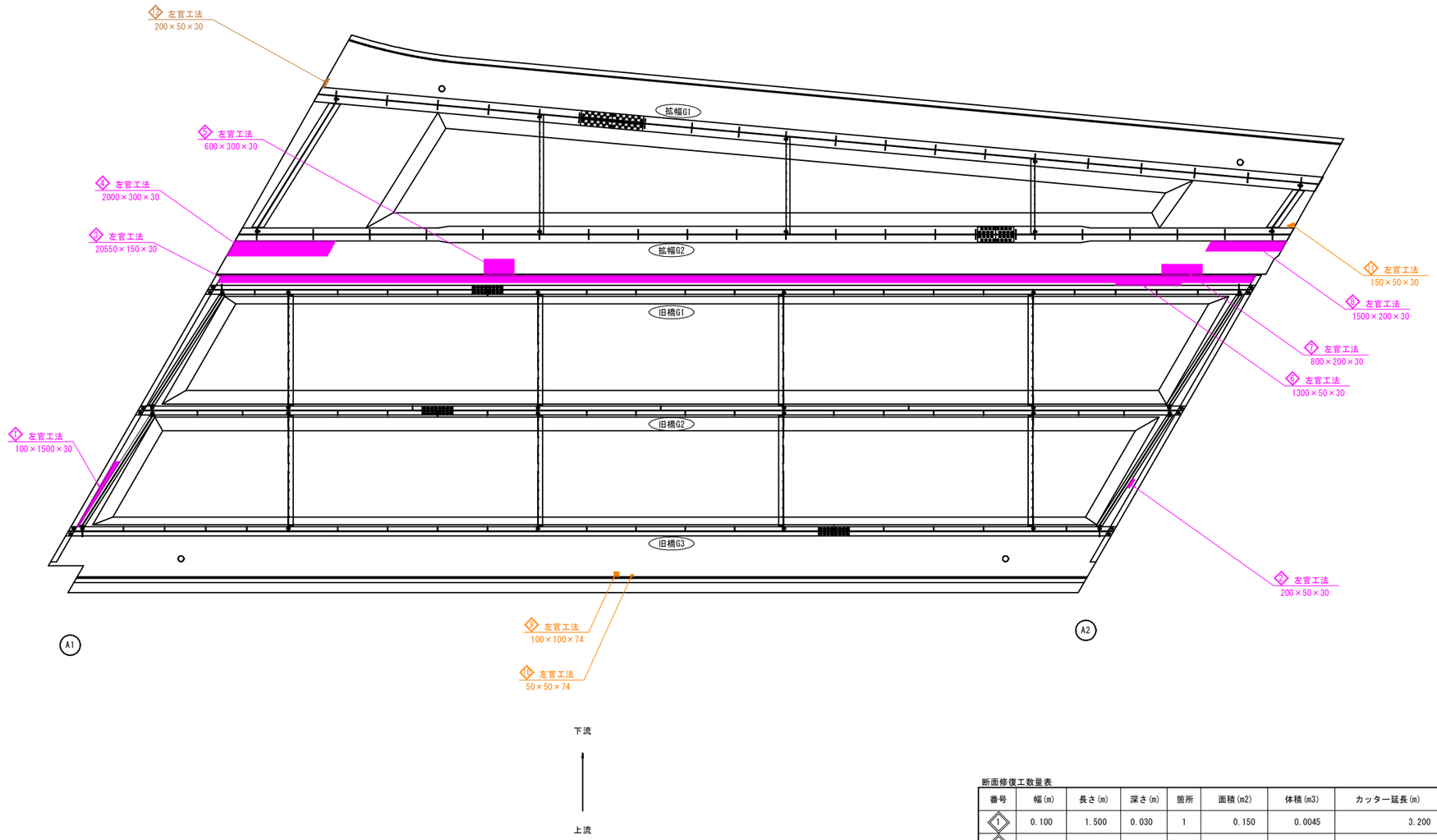
㊀　Ｒ８　実施

（出合橋）

路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	出合橋　対策一般図		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　1		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

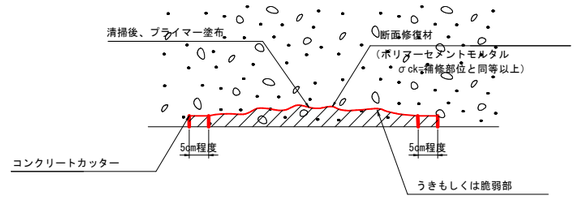
出合橋　断面修復工図(その1)

桁　下　図　S=1/50

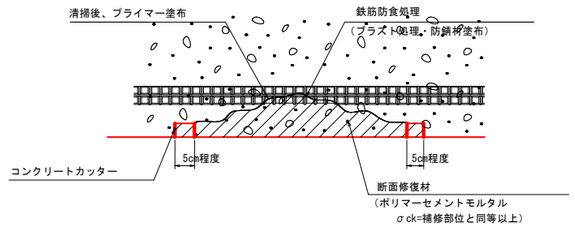


断面修復工詳細図

<コンクリート剥離･うき･欠損部>



<鉄筋露出部>



注記）
- 施工前に損傷範囲をテストハンマーで再確認し、施工範囲を設定すること。
- 断面修復材との付着をよくするために素地調整（接着剤等）を施すこと。
- 断面修復の付着性能をよくするためにエッジにはコンクリートカッターにより１ｃｍ程度の鉛直部を設けること。
- 断面修復部に鉄筋露出や鉄筋が腐食している場合は、錆等の付着物を取り除いた後、鉄筋防錆材を塗布し断面修復を行うこと。
- 断面修復の鉄筋が腐食により大きく断面欠損している場合は、補助鉄筋を設けること。
- 断面修復面は、コテ仕上げにより平滑にすること。

断面修復工数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所	面積(m2)	体積(m3)	カッター延長(m)	備考
1	0.100	1.500	0.030	1	0.150	0.0045	3.200	
2	0.200	0.050	0.030	1	0.010	0.0003	0.500	
3	20.550	0.150	0.030	1	3.083	0.0925	41.400	
4	2.000	0.300	0.030	1	0.600	0.0180	4.600	
5	0.600	0.300	0.030	1	0.180	0.0054	1.800	
6	1.300	0.050	0.030	1	0.065	0.0020	2.700	
7	0.800	0.200	0.030	1	0.160	0.0048	2.000	
8	1.500	0.200	0.030	1	0.300	0.0090	3.400	
9	0.100	0.100	0.030	1	0.010	0.0003	0.400	
10	0.050	0.050	0.030	1	0.003	0.0001	0.200	
11	0.150	0.050	0.030	1	0.008	0.0002	0.400	
12	0.200	0.050	0.030	1	0.010	0.0003	0.500	
集計				12	4.579	0.1374	61.100	

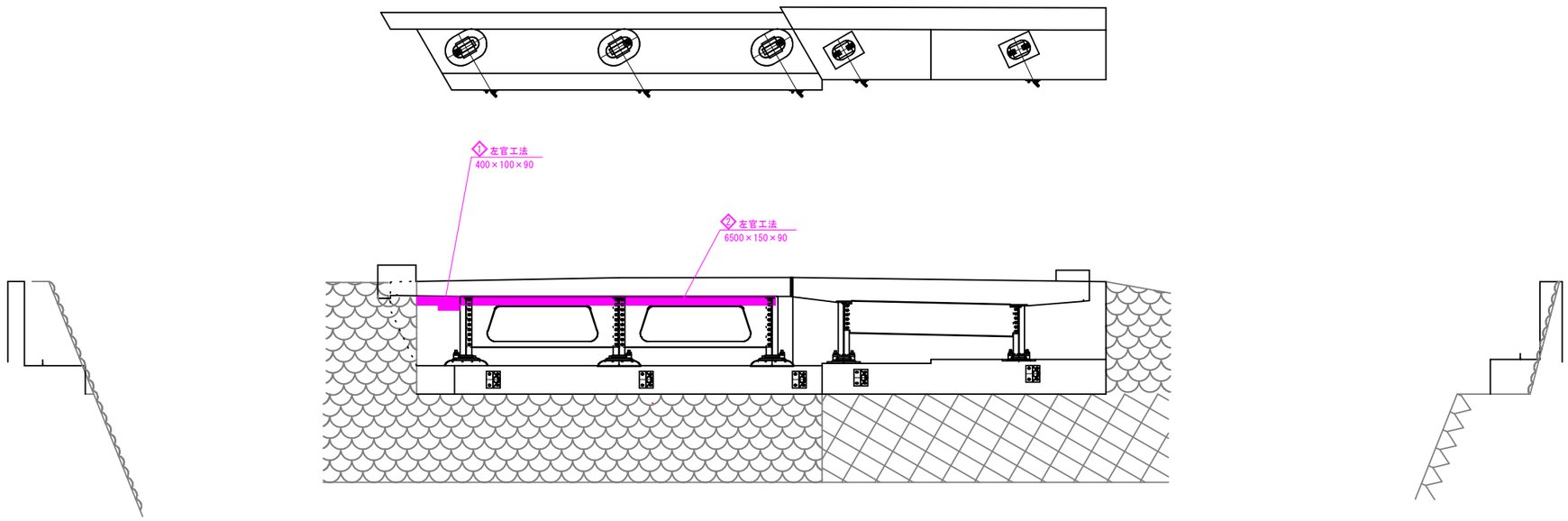
注記）
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

㊗　Ｒ８　実施　（出合橋）

路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	出合橋　断面修復工図(その1)		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　2		
令和　8　年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

出合橋　断面修復工図(その2)

A1橋台　S=1/30



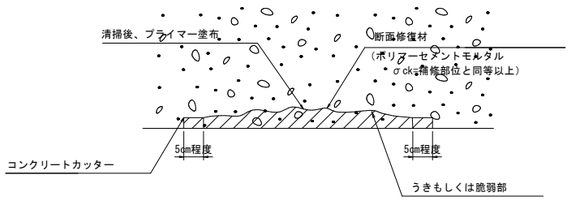
上流 ⟶ 下流

断面修復工詳細図

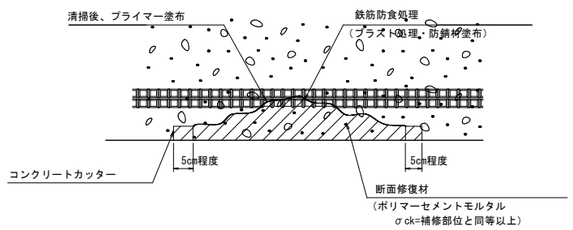
断面修復工数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所	面積(m2)	体積(m3)	カッター延長(m)	備考
1	0.400	0.100	0.090	1	0.040	0.0036	1.000	
2	6.500	0.150	0.090	1	0.975	0.0878	13.300	
集計				2	1.015	0.0914	14.300	

＜コンクリート剥離･うき･欠損部＞



＜鉄筋露出部＞



注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

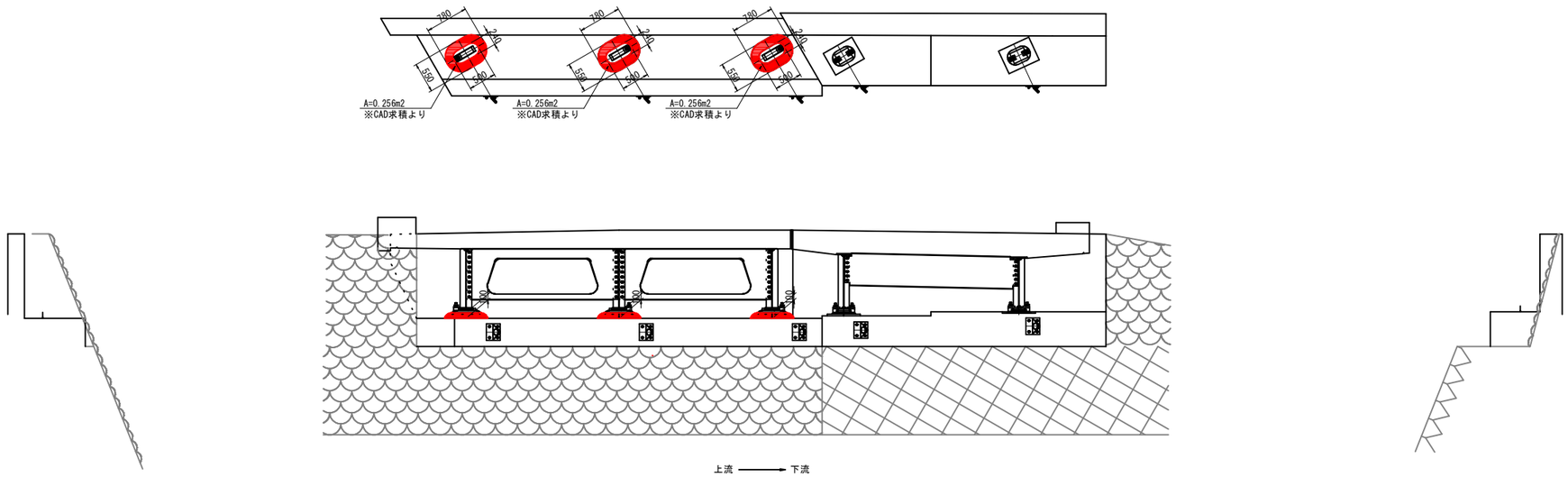
注記)
・施工前に損傷範囲をテストハンマーで再確認し、施工範囲を設定すること。
・断面修復材との付着をよくするために素地調整（接着剤等）を施すこと。
・断面修復の付着性能をよくするためにエッジにはコンクリートカッターにより１ｃｍ程度の鉛直部を設けること。
・断面修復部に鉄筋露出や鉄筋が腐食している場合は、錆等の付着物を取り除いた後、鉄筋防錆材を塗布し断面修復を行うこと。
・断面修復の鉄筋が腐食により大きく断面欠損している場合は、補助鉄筋を設けること。
・断面修復面は、コテ仕上げにより平滑にすること。

㊋ Ｒ８　実施　(出合橋)

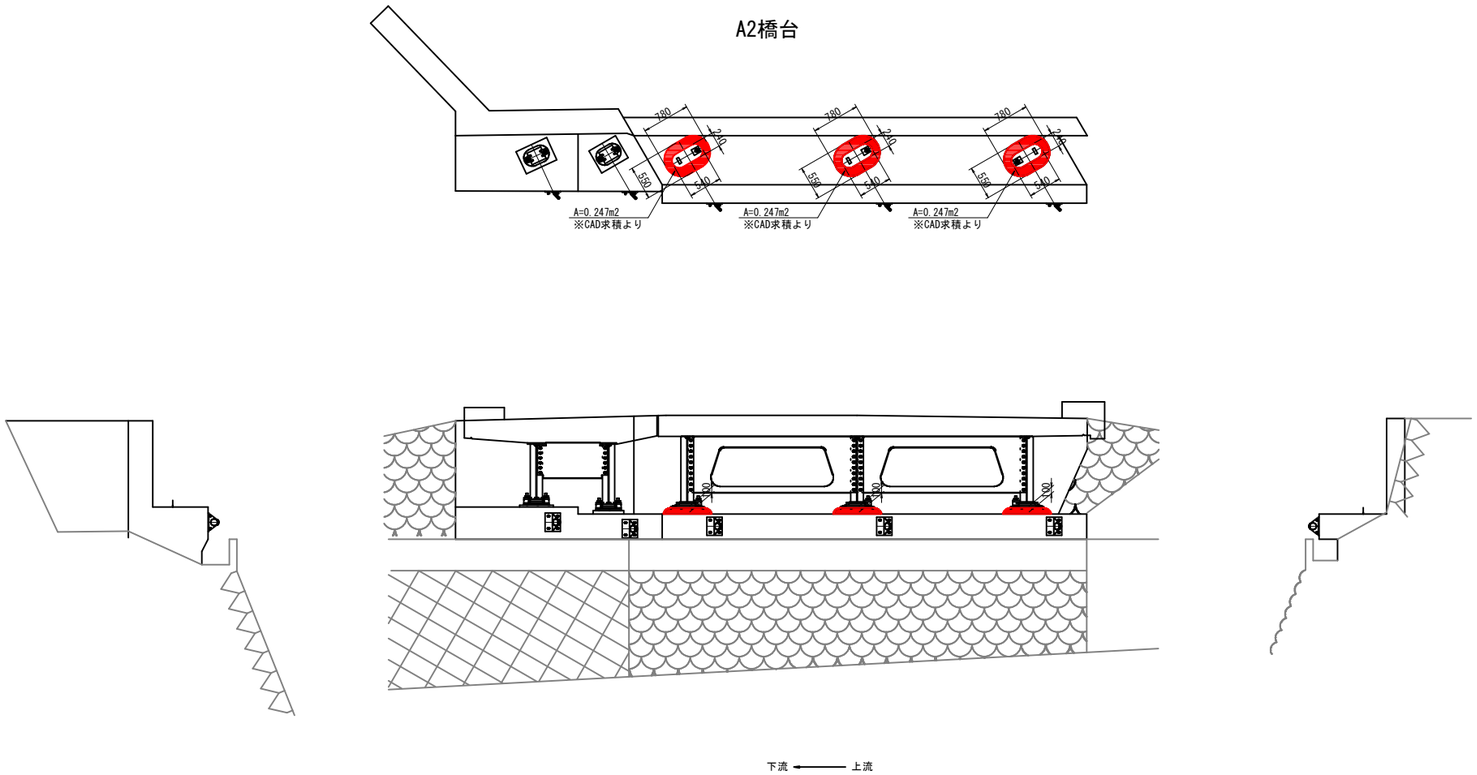
路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	出合橋　断面修復工図(その2)		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　3		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

出合橋　沓座モルタル補修工図　S=1/50

A1橋台



A2橋台



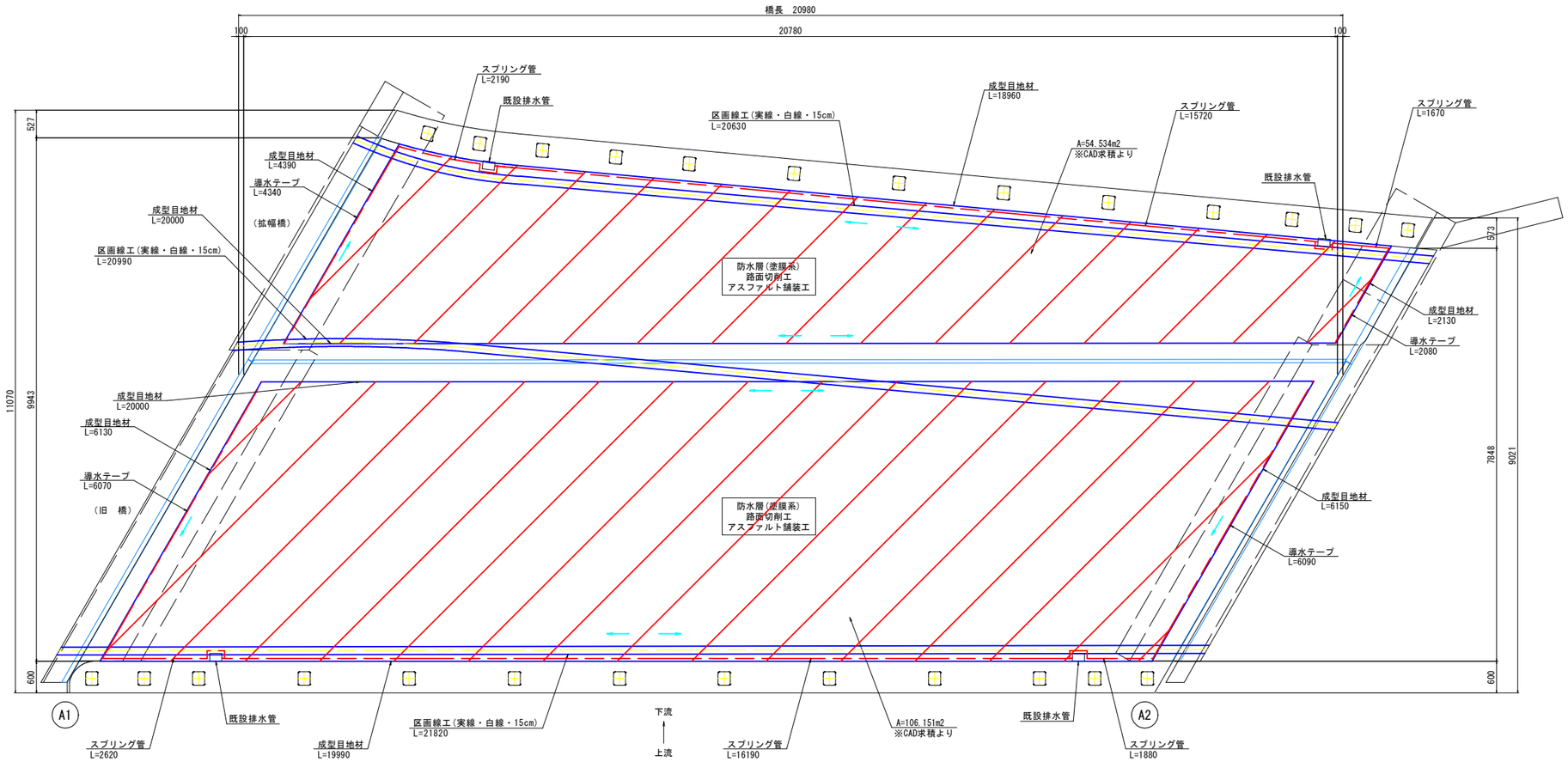
注記）
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

㊗　Ｒ８　実施　（出合橋）

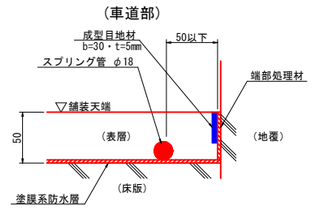
路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	出合橋　沓座モルタル補修工図		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　4		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

出合橋　防水・排水工詳細図

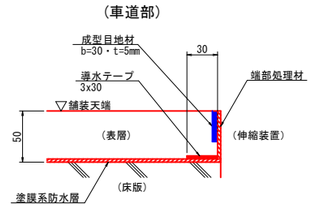
平　面　図　S=1/50



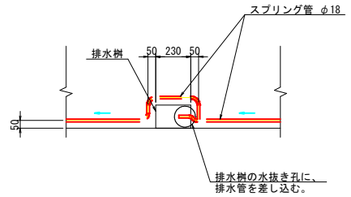
縦断排水部詳細図　S=1/3



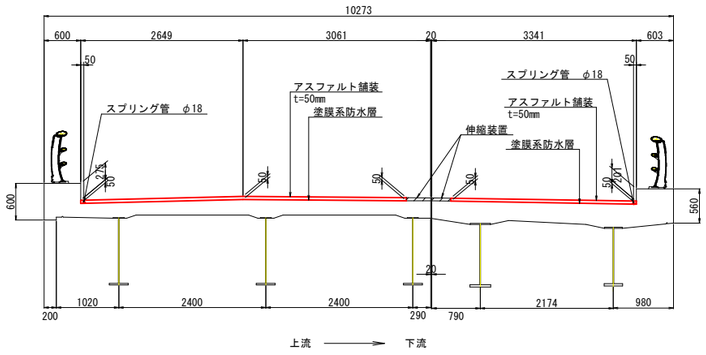
横断排水部詳細図　S=1/3



排水周り詳細図　S=1/20



断面図（中間部）　S=1/50



※　本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。

※　部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。

※　土砂堆積，植生，鳥の巣，ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。

※　取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

※　著しい損傷が見られた場合は、別途発注者と協議すること。

※　舗装版取壊しを行う際は、床版等を破損しないよう注意すること。

※　既設舗装撤去後に床版上面に不陸が見られる場合は、
　モルタル等で不陸整正を行うこと。

※　排水勾配が逆勾配となる箇所については、施工時に排水勾配を設けること。

※　防水材塗布時は表面水分量10%以下とすること。

※　防水材塗布は、気温5℃以下では施工しないこと。

※　縦横断排水管の流末処理については、
　既設排水桝を穿孔し、排水桝内に差し込むこと。

路面切削工数量表

(1橋当り)

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
路面切削	全面切削　t=5cm	m^2	160.685	アスファルト舗装(車道部)
殻運搬（路面切削）	アスファルト殻	m^3	8.034	
殻処分	がれき類	m^3	8.034	

橋面防水工数量表

(1橋当り)

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
橋面防水	塗膜系アスファルト加熱型防水層	m^2	160.685	
ドレーン材	スプリング管　φ18	m	40.270	SUS製
	導水テープ　3×30	m	18.580	
目地工	成型目地材　b=30mm・t=5mm	m	97.750	

アスファルト舗装工数量表

(1橋当り)

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
表層（車道・路肩部）	再生密粒度改質アスファルト (改質Ⅰ型) t=5cm 瀝青材無し	m^2	106.151	3.0m超
表層（車道・路肩部）	再生密粒度改質アスファルト (改質Ⅰ型) t=5cm 瀝青材無し	m^2	54.534	1.4m以上3.0m未満

区画線工数量表

(1橋当り)

名　称	規　格	単位	数　量	備　考
区画線設置 区画線 溶融式・手動	実線・幅15cm・供用区間・白色・厚1.5mm	m	63.440	

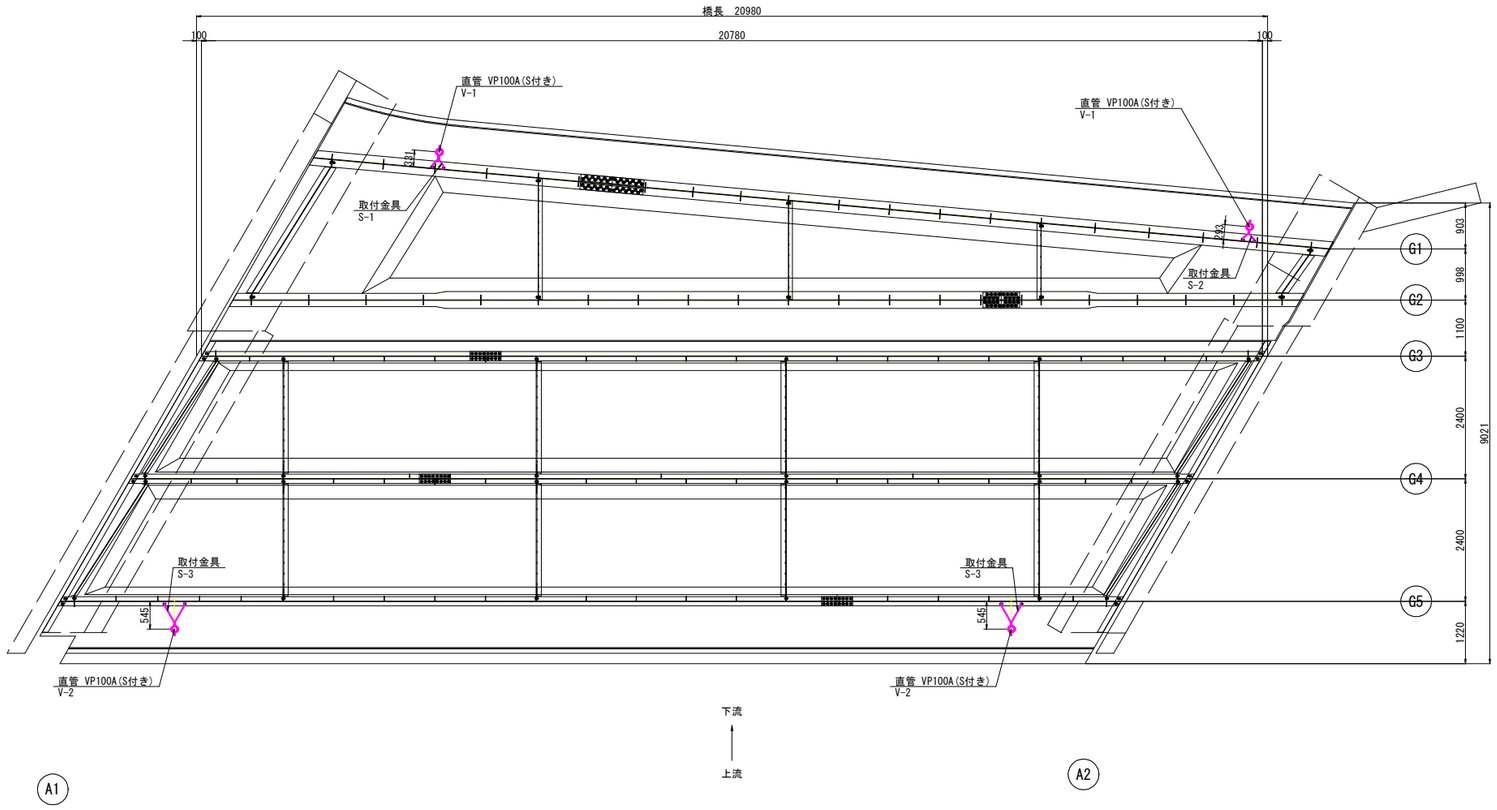
㊗　Ｒ８　実施

(出合橋)

路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	出合橋　防水・排水工詳細図		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　5		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

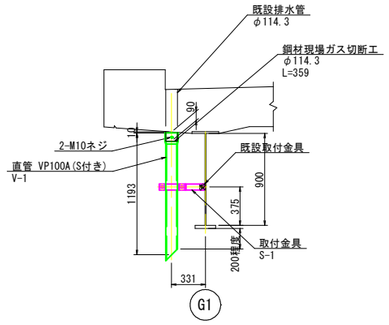
出合橋　排水装置補修工図

平　面　図　S=1/60

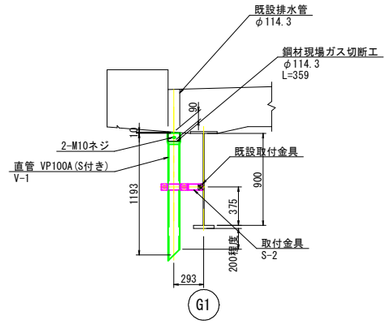


断　面　図　S=1/30

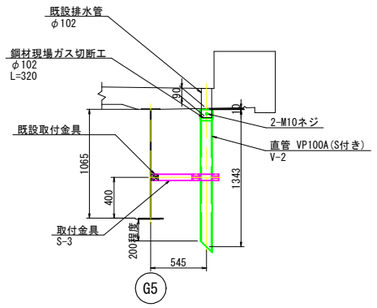
下流側　起点側



下流側　終点側

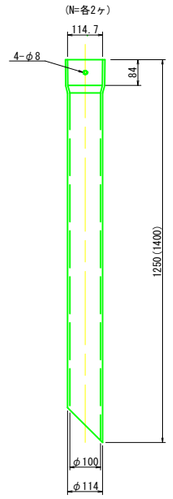


上流側



直　管　S=1/10

VP100(Sツキ)
V-1(V-2)

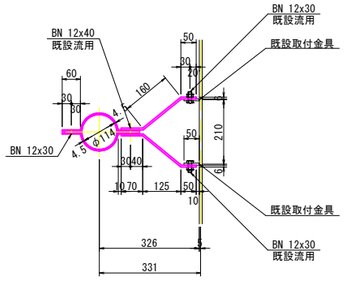


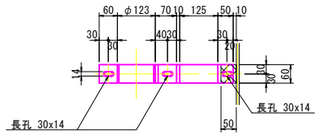
※　()内数値はV-2を示す。

取付金具　S=1/10

VP100A用

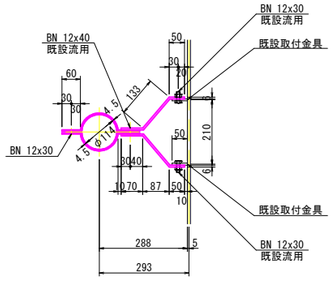
S-1
製作数 : 1

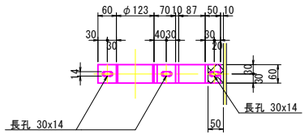




2-PL 60×4.5×312
2-PL 60×6×280
1-BOLT M12×30
1-NUT M12(1種)
2-WASHER M12用
1箇所当り合計　W = 2.904 kg

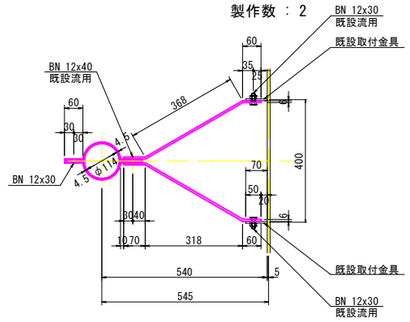
S-2
製作数 : 1

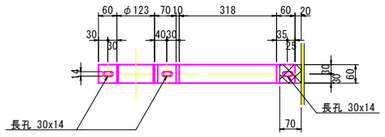




2-PL 60×4.5×312
2-PL 60×6×253
1-BOLT M12×30
1-NUT M12(1種)
2-WASHER M12用
1箇所当り合計　W = 2.752 kg

S-3
製作数 : 2





2-PL 60×4.5×312
2-PL 60×6×498
1-BOLT M12×30
1-NUT M12(1種)
2-WASHER M12用
1箇所当り合計　W = 4.136 kg

排水装置補修工数量表

(1橋当り)

名　称	規　格		単位	数　量	備　考
補修工事ガス切断切削仕上工	φ102		m	0.641	
	φ114.3		m	0.718	
流心延長			m	5.072	
直管	VP100A(Sツキ)	V-1	本	2	L = 1.250 x 2 = 2.500
		V-2	本	2	L = 1.400 x 2 = 2.800
取付金具	SS400	S-1	組	1	W = 2.904kg/組
		S-2	組	1	W = 2.752kg/組
		S-3	組	2	W = 4.136kg/組
	合計鋼材質量		kg	14	
溶融亜鉛めっき	2種HDZ55		kg	14	
ビス	M10		個	8	排水管取替用
ボルト・ナット	ボルト　SS400　M12x30		本	4	
	ナット　SS400　M12(1種)		個	4	
	ワッシャー　SS400　M12用		枚	8	

※　本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
※　部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
※　土砂堆積，植生，鳥の巣，ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
※　取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
※　著しい損傷が見られた場合は、別途発注者と協議すること。

注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

㊙　R8　実施

(出合橋)

路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	出合橋　排水装置補修工図		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　6		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

出合橋　排水機能復旧工図
(A1橋台)

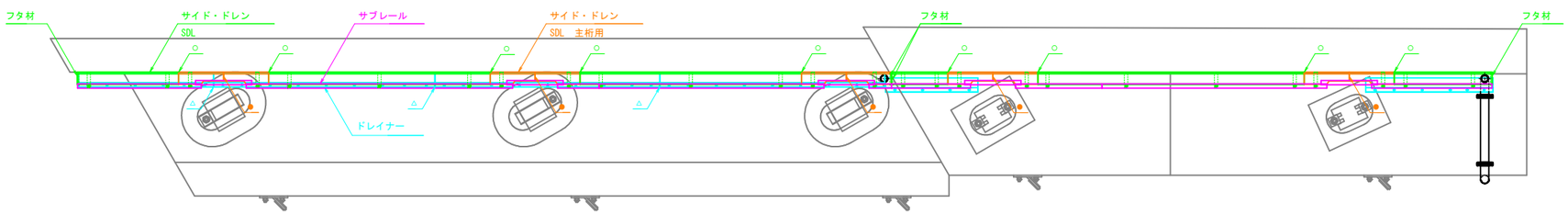
参考図（今回不施工）

凡例

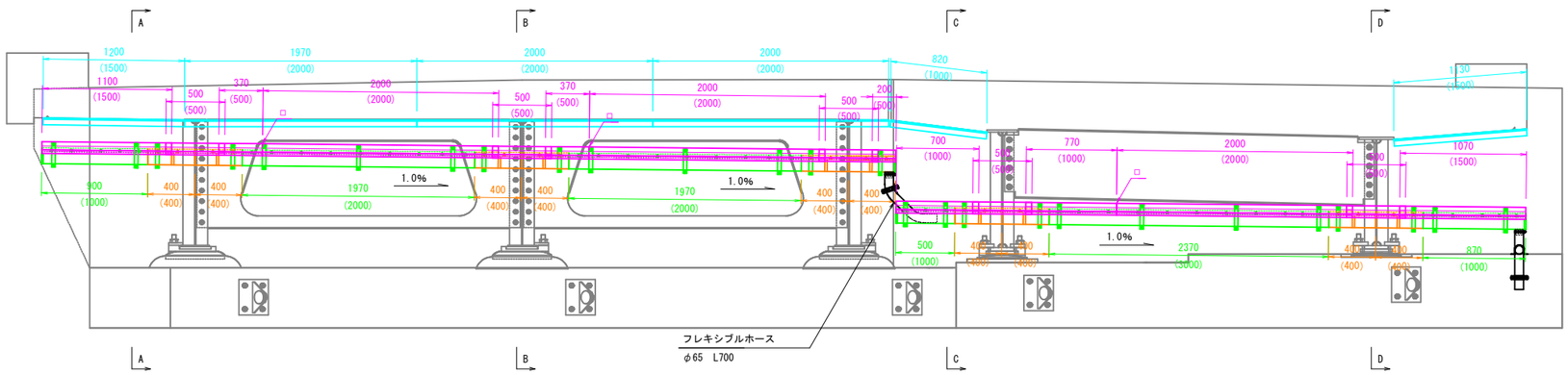
○	ジョイント_SDL
●	ジョイント_100×70×100
□	ジョイント_サブレール50×50
△	ジョイント_ドレイナー35×100

計画図　S=1:25

正面図

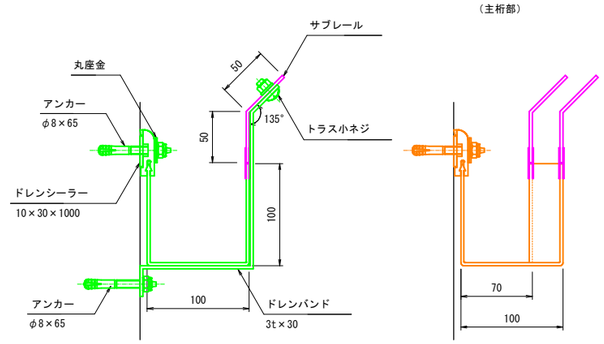


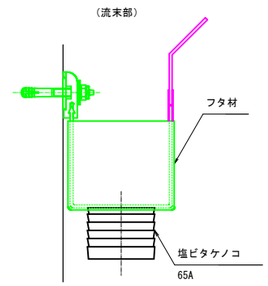
正面図



サイド・ドレン断面図　S=1:3

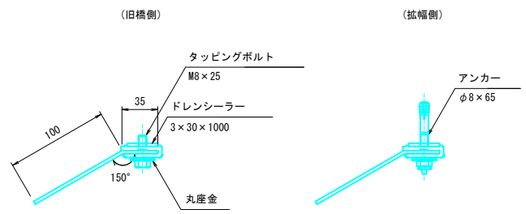
SDL、サブレール





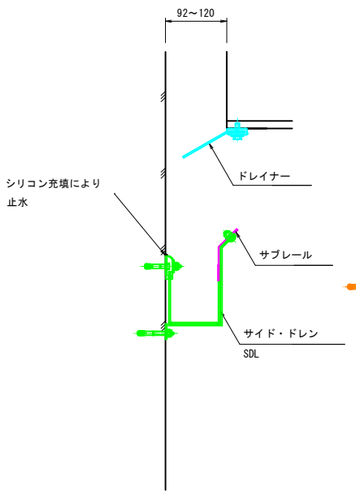
ドレイナー断面図　S=1:3

35×100×3、150°



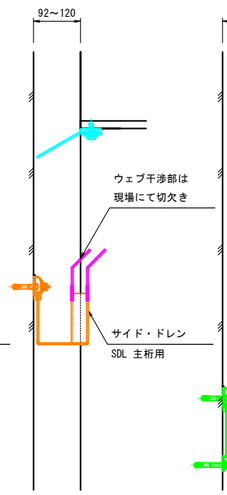
A-A　S=1:6

旧橋　張出部



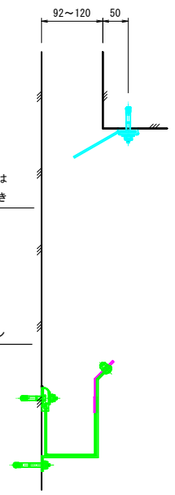
B-B　S=1:6

旧橋　主桁部



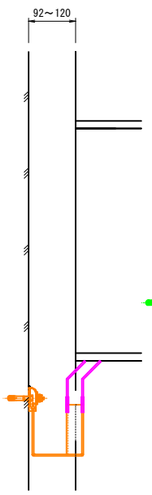
C-C　S=1:6

拡幅　張出部

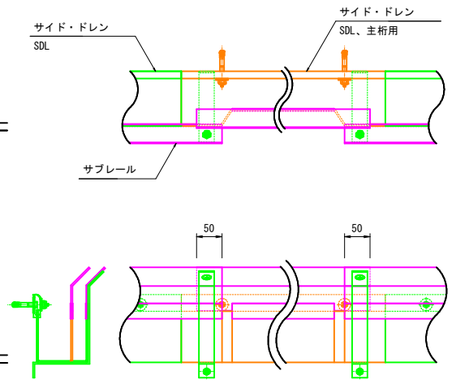


D-D　S=1:6

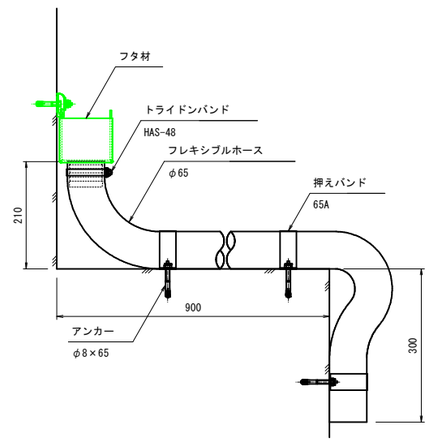
拡幅　主桁部



主桁部　S=1:6



流末部　S=1:6



注記）
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

特記事項
1. (　)内は、材料寸法を示す。
2. 工事発注後は再調査を行い、設計時との差異を修正する。

㊙　Ｒ８　実施　(出合橋)

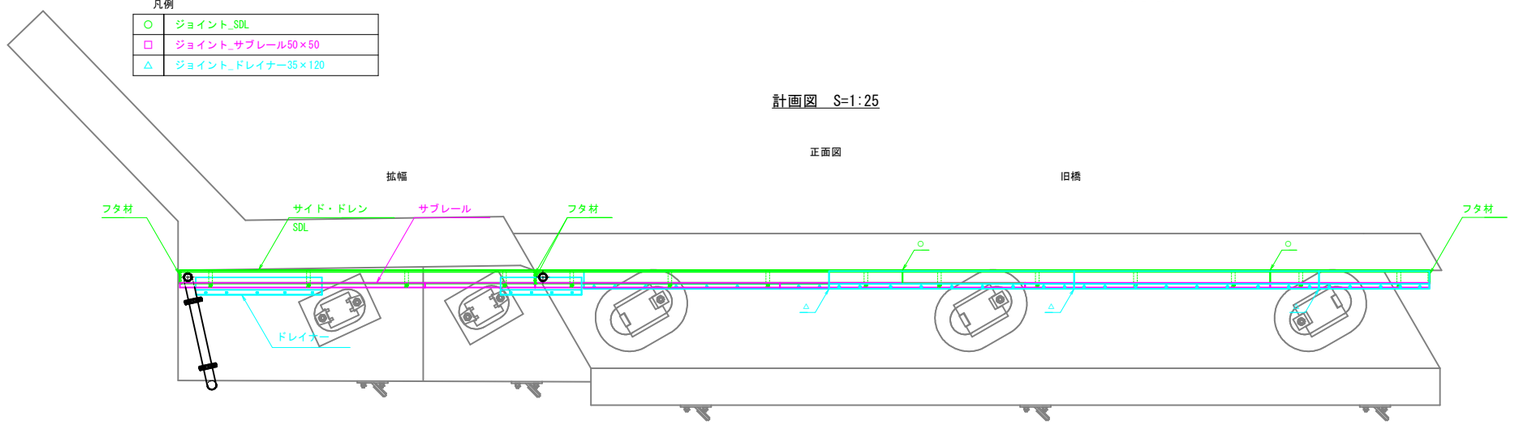
路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	出合橋　排水機能復旧工図(A1橋台)		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　7		
令和　8　年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

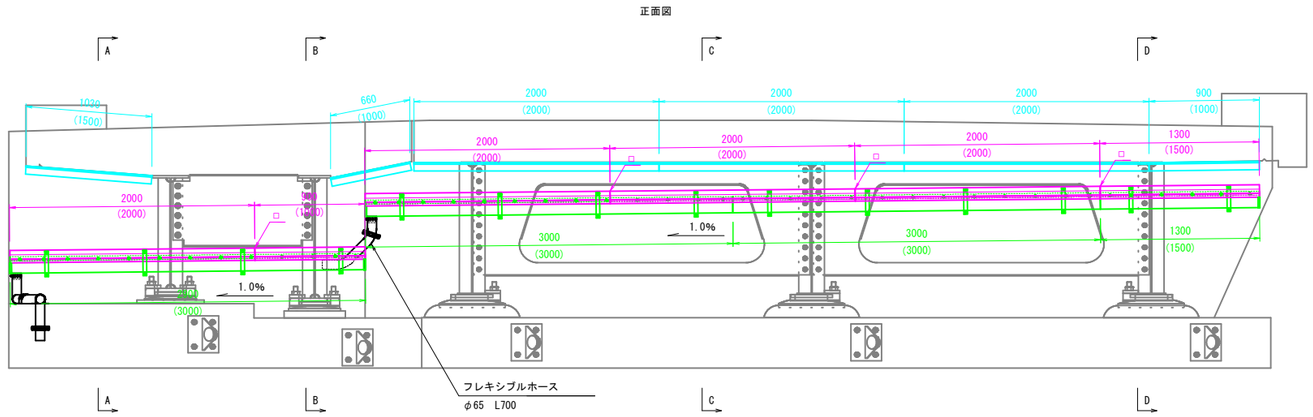
出合橋　排水機能復旧工図
(A2橋台)

凡例

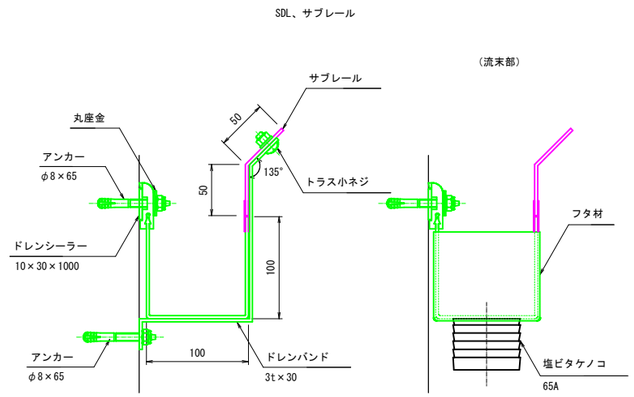
○	ジョイント_SDL
□	ジョイント_サブレール50×50
△	ジョイント_ドレイナー35×120

計画図　S=1:25

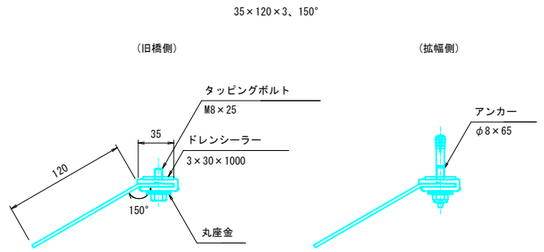




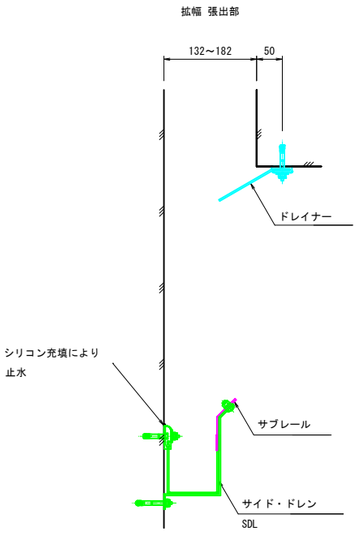
サイド・ドレン断面図　S=1:3



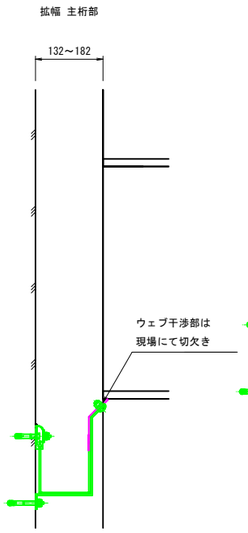
ドレイナー断面図　S=1:3



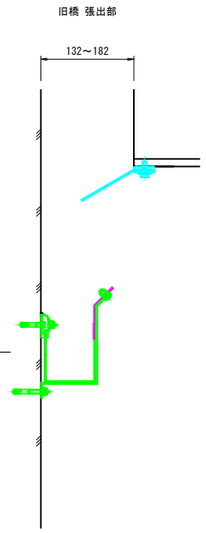
A-A　S=1:6



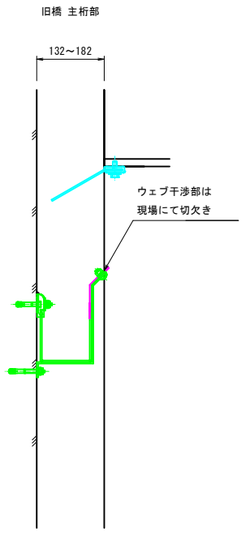
B-B　S=1:6



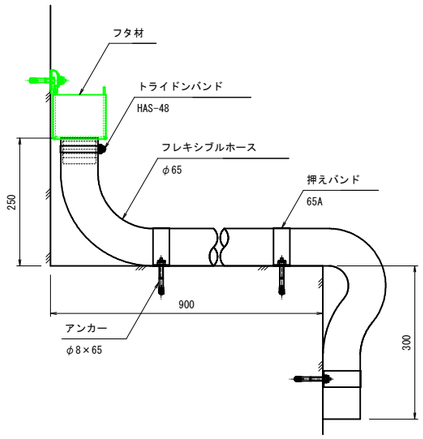
C-C　S=1:6



D-D　S=1:6



流末部　S=1:6



注記)

1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

特記事項

1. (　)内は、材料寸法を示す。
2. 工事発注後は再調査を行い、設計時との差異を修正する。

㊗　Ｒ８　実施

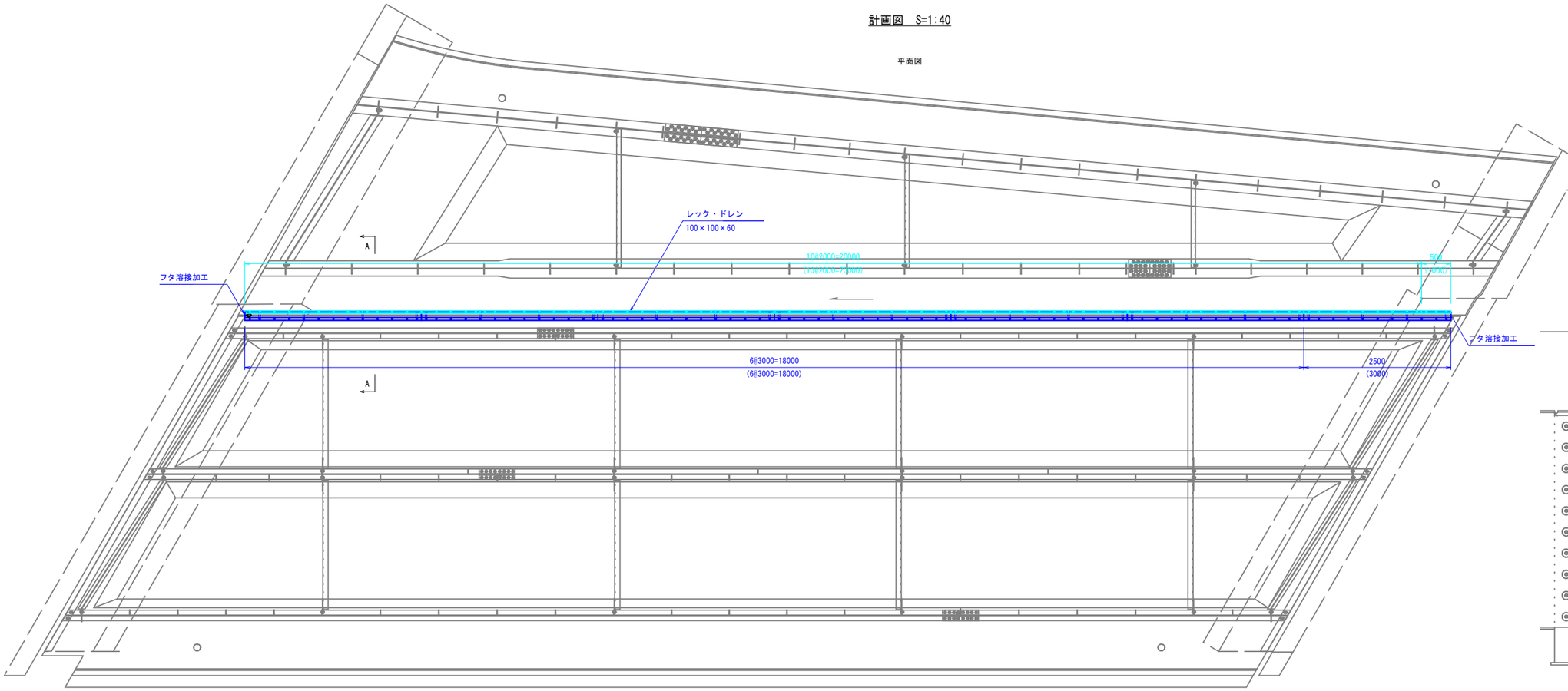
(出合橋)

路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	出合橋　排水機能復旧工図(A2橋台)		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　8		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

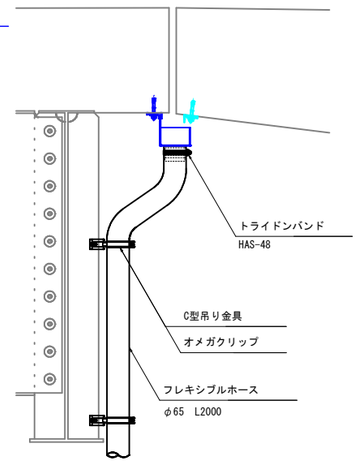
出合橋　排水機能復旧工図
（縦目地）

計画図　S=1:40

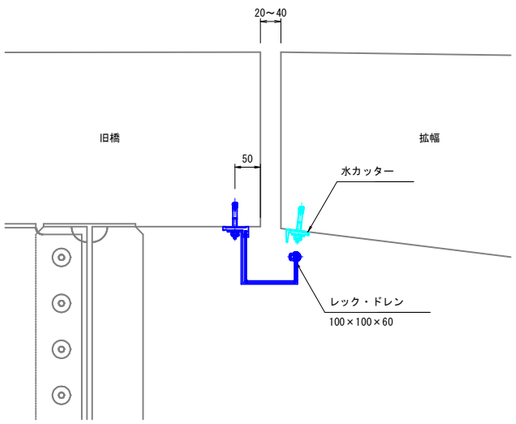
平面図



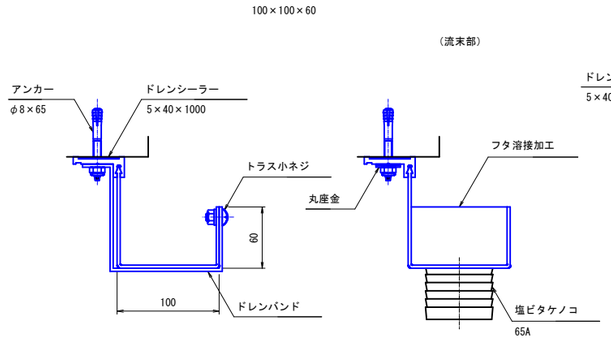
流末部　S=1:10



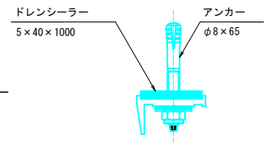
A-A　S=1:6



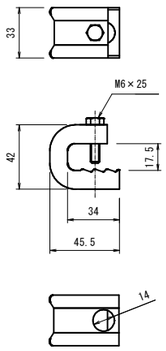
レック・ドレン断面図　S=1:3



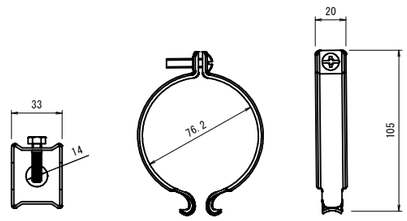
水カッター断面図　S=1:2



C型吊り金具詳細図 S=1:2



オメガクリップ詳細図 S=1:2



注記）
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

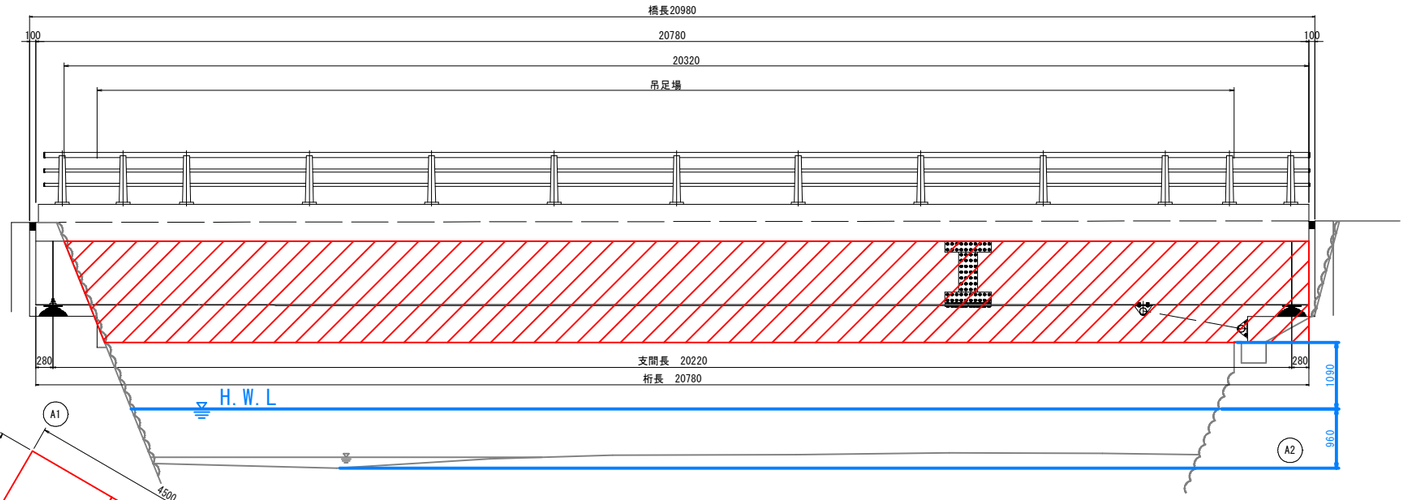
特記事項
1. （　）内は、材料寸法を示す。
2. 工事発注後は再調査を行い、設計時との差異を修正する。

㊙　Ｒ８　実施　（出合橋）

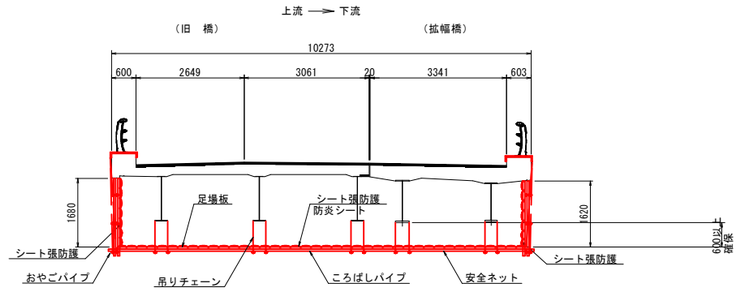
路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	出合橋　排水機能復旧工図(縦目地)		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　9		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

出合橋　仮設足場工図(参考図)

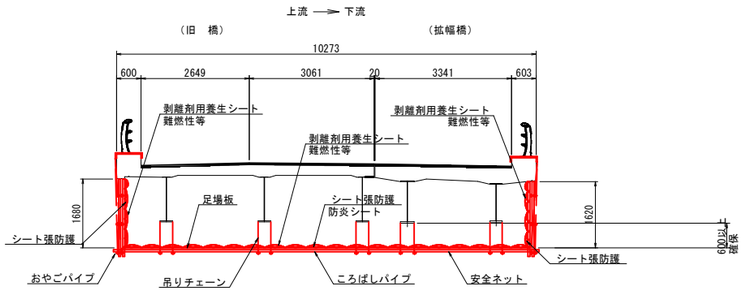
側　面　図　S=1/50



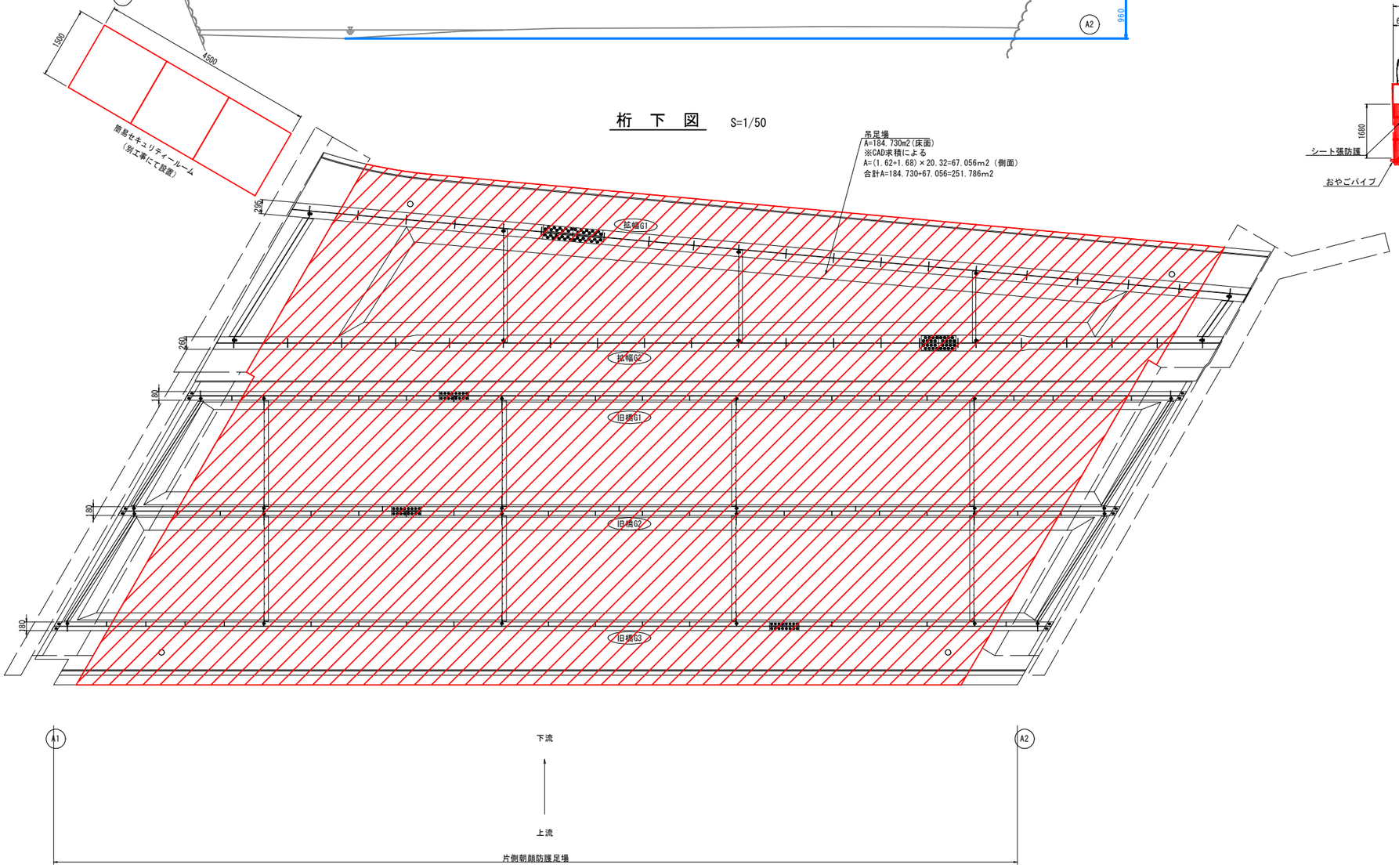
断　面　図　S=1/75



湿式塗膜剥離工 施工時



桁　下　図　S=1/50



凡　例

▨	吊足場(タイプA1)

注記)

1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。

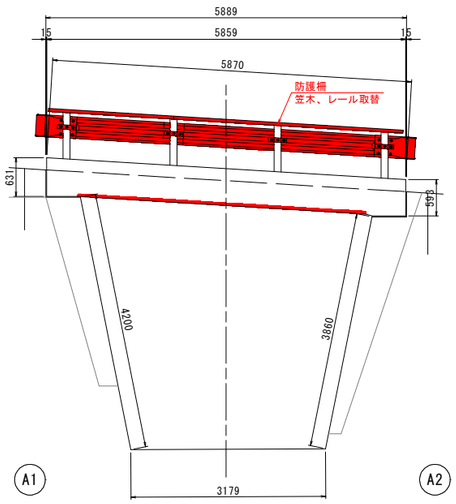
㊋　R８　実施　(出合橋)

路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	出合橋　仮設足場工図(参考図)		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　10		
令和　8　年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

小滝橋　対策一般図

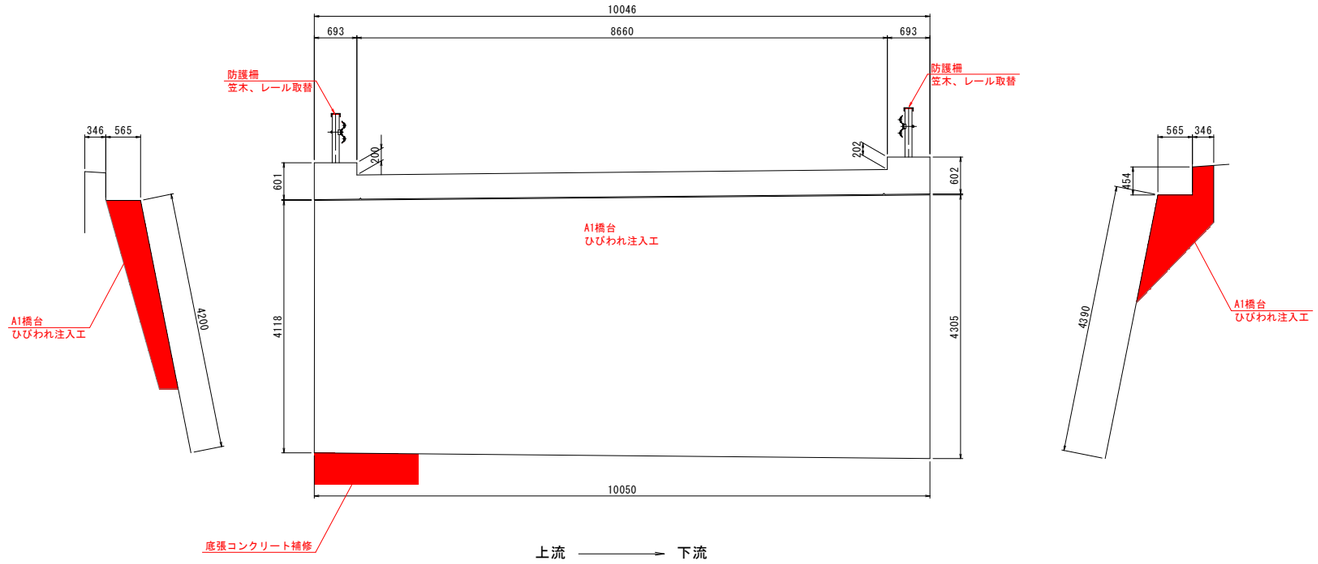
側　面　図

上流側　S=1/50



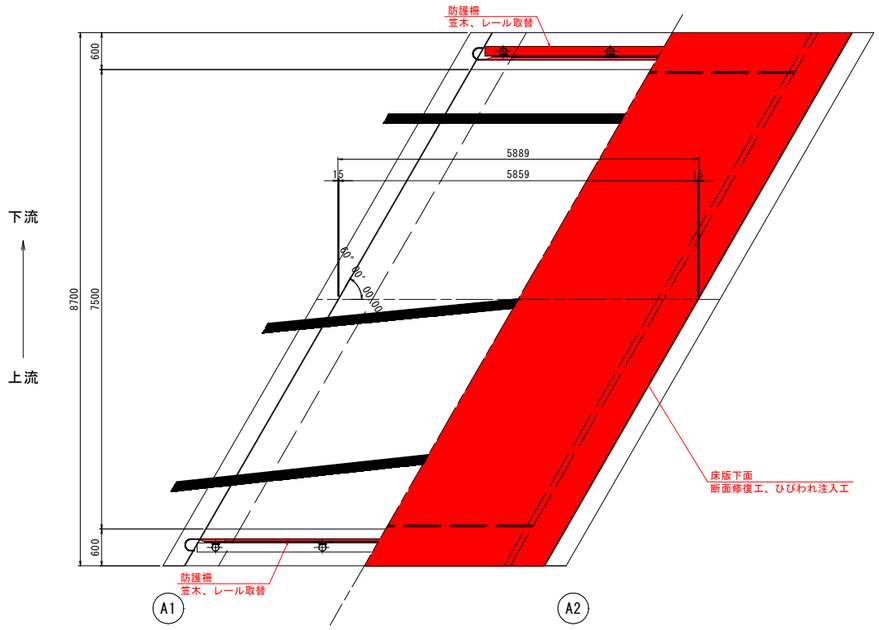
起点側断面図

（A1橋台）　S=1/50



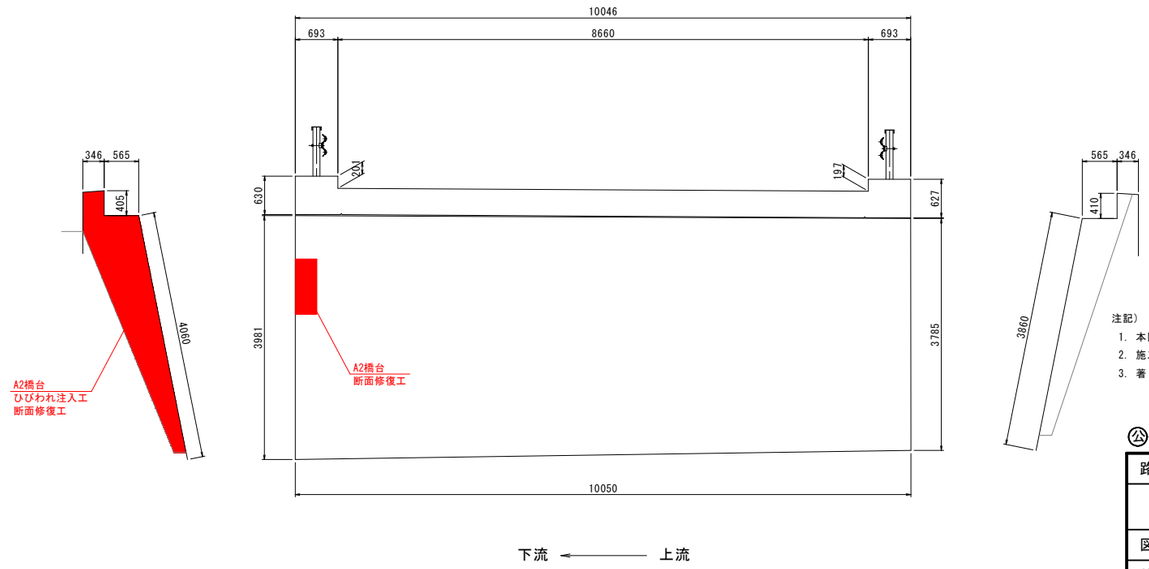
平　面　図

S=1/50



終点側断面図

（A2橋台）　S=1/50



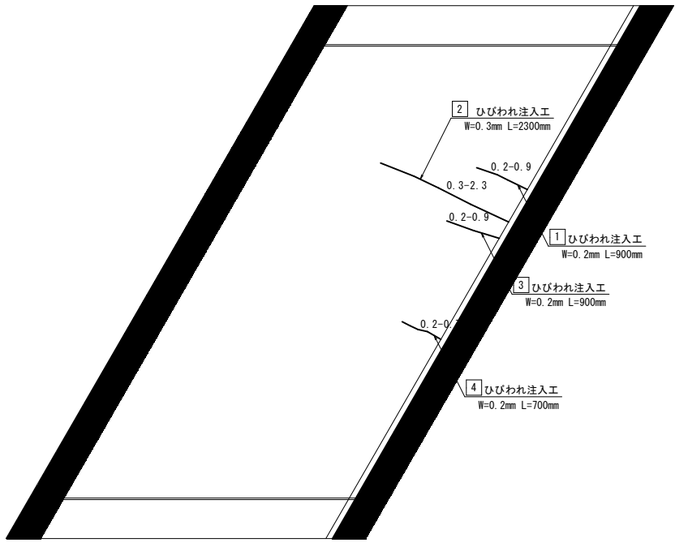
注記）
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

㊗　Ｒ８　実施　（小滝橋）

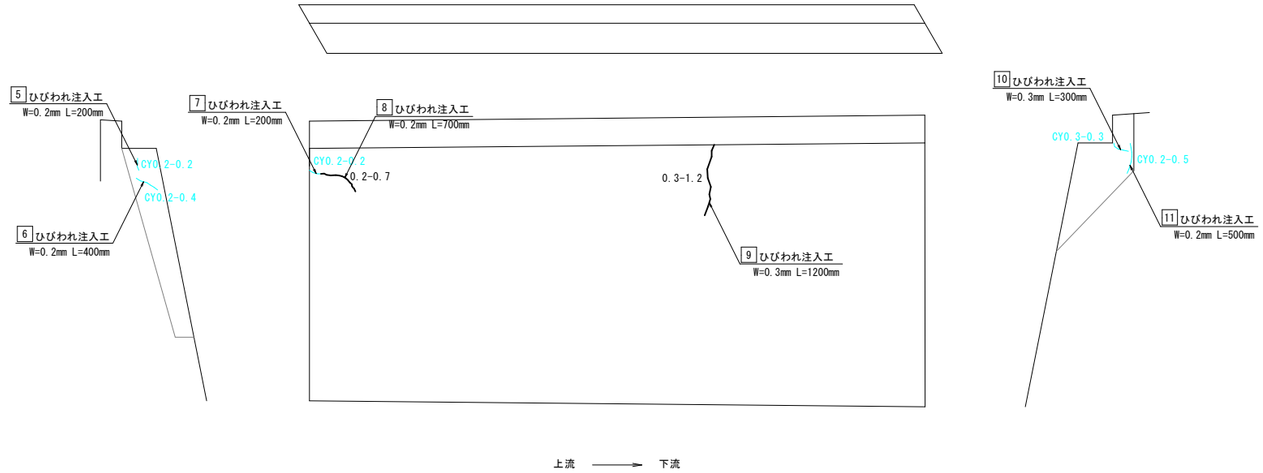
路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	小滝橋　対策一般図		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　11		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

小滝橋　ひびわれ補修工図

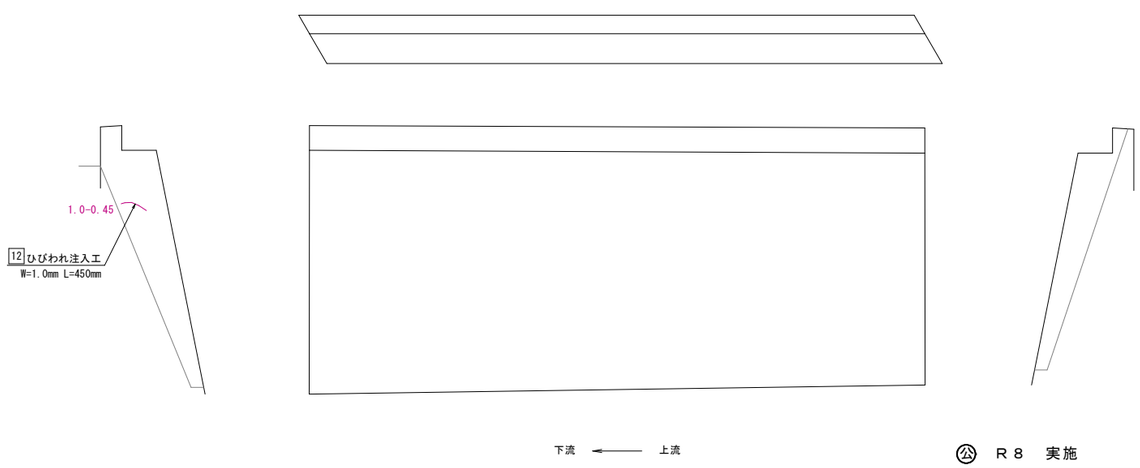
桁下面　S=1:50



A1橋台　S=1:50

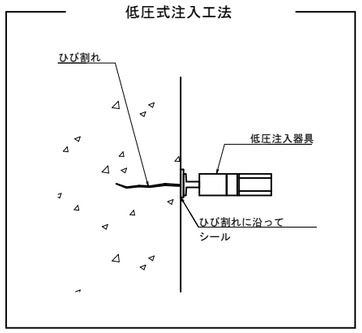


A2橋台　S=1:50



ひび割れ補修工

低圧式注入工法



注記）
- 樹脂系注入材の場合、注入箇所が漏水や湿潤状態にあると、接着不良を起こす可能性があるため、湿潤面用注入材を用いること。
- セメント系注入材の場合、注入箇所が注入箇所が乾燥状態にあると、目詰まりを起こすため、湿潤状態にすること。
- ひび割れ箇所及び数量は、現地にて最終決定すること。

ひびわれ注入工 数量表

位置	番号	幅(mm)	長さ(m)	箇所	備考
桁下面	1	0.200	0.900	1	
桁下面	2	0.300	2.300	1	
桁下面	3	0.200	0.900	1	
桁下面	4	0.200	0.700	1	
A1橋台	5	0.200	0.200	1	
A1橋台	6	0.200	0.400	1	
A1橋台	7	0.200	0.200	1	
A1橋台	8	0.200	0.700	1	
A1橋台	9	0.300	1.200	1	
A1橋台	10	0.300	0.300	1	
A1橋台	11	0.200	0.500	1	
A2橋台	12	1.000	0.450	1	
集計				12	

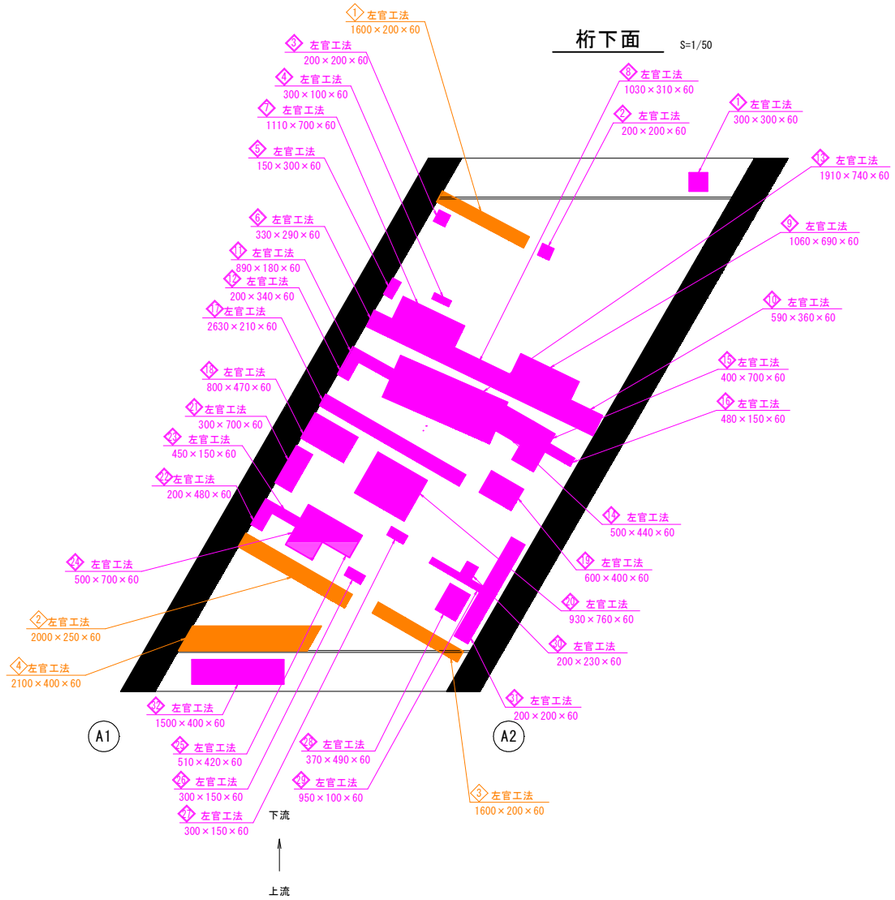
注記）
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

公　Ｒ８　実施　（小滝橋）

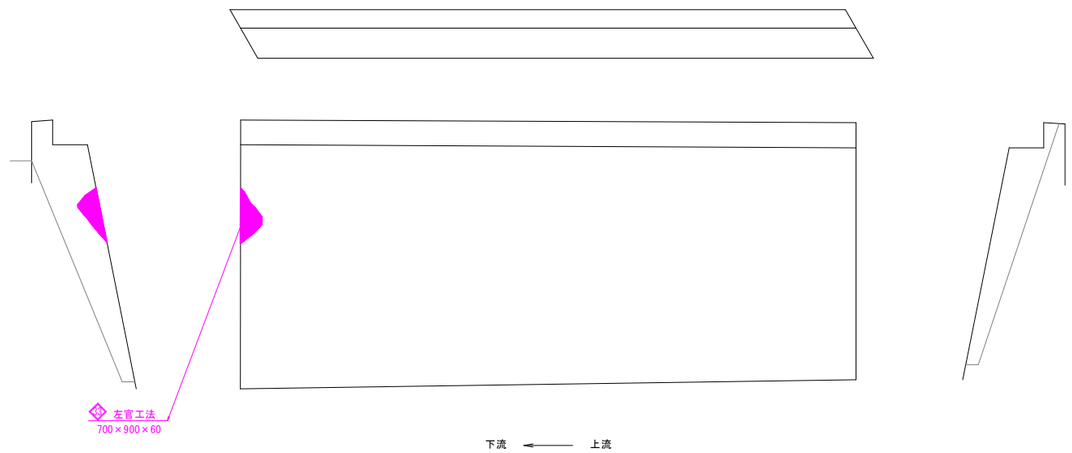
路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	小滝橋　ひびわれ補修工図		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　12		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

小滝橋　断面修復工図

桁下面　S=1/50

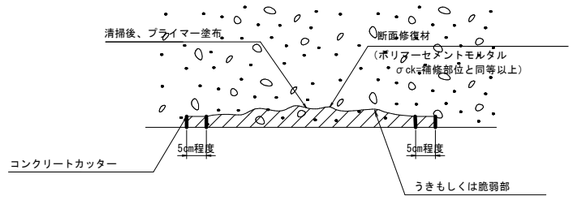


A2橋台　S=1/50

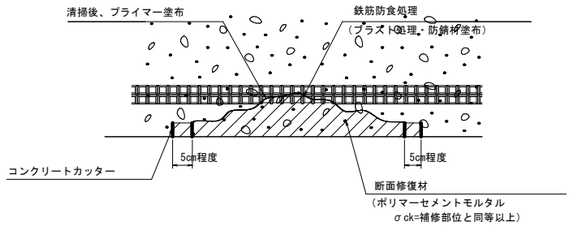


断面修復工詳細図

＜コンクリート剥離･うき･欠損部＞



＜鉄筋露出部＞



注記）
- 施工前に損傷範囲をテストハンマーで再確認し、施工範囲を設定すること。
- 断面修復材との付着をよくするために素地調整（接着剤等）を施すこと。
- 断面修復の付着性能をよくするためにエッジにはコンクリートカッターにより１ｃｍ程度の鉛直部を設けること。
- 断面修復部に鉄筋露出や鉄筋が腐食している場合は、錆等の付着物を取り除いた後、鉄筋防錆材を塗布し断面修復を行うこと。
- 断面修復の鉄筋が腐食により大きく断面欠損している場合は、補助鉄筋を設けること。
- 断面修復面は、コテ仕上げにより平滑にすること。

断面修復工
剥離･うき･欠損部数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所	面積(m2)	体積(m3)	カッター延長(m)	備考
1	0.300	0.300	0.060	1	0.090	0.0054	1.200	
2	0.200	0.200	0.060	1	0.040	0.0024	0.800	
3	0.200	0.200	0.060	1	0.040	0.0024	0.800	
4	0.300	0.100	0.060	1	0.030	0.0018	0.800	
5	0.150	0.300	0.060	1	0.045	0.0027	0.900	
6	0.330	0.290	0.060	1	0.096	0.0058	1.240	
7	1.110	0.700	0.060	1	0.777	0.0466	3.620	
8	1.030	0.310	0.060	1	0.319	0.0191	2.680	
9	1.060	0.690	0.060	1	0.731	0.0439	3.500	
10	0.590	0.360	0.060	1	0.212	0.0127	1.900	
11	0.890	0.180	0.060	1	0.160	0.0096	2.140	
12	0.200	0.340	0.060	1	0.068	0.0041	1.080	
13	1.910	0.740	0.060	1	1.413	0.0848	5.300	
14	0.500	0.440	0.060	1	0.220	0.0132	1.880	
15	0.400	0.700	0.060	1	0.280	0.0168	2.200	
16	0.480	0.150	0.060	1	0.072	0.0043	1.260	
17	2.630	0.210	0.060	1	0.552	0.0331	5.680	
18	0.800	0.470	0.060	1	0.376	0.0226	2.540	
19	0.600	0.400	0.060	1	0.240	0.0144	2.000	
20	0.930	0.760	0.060	1	0.707	0.0424	3.380	

断面修復工
剥離･うき･欠損部数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所	面積(m2)	体積(m3)	カッター延長(m)	備考
21	0.300	0.700	0.060	1	0.210	0.0126	2.000	
22	0.200	0.480	0.060	1	0.096	0.0058	1.360	
23	0.450	0.150	0.060	1	0.068	0.0041	1.200	
24	0.500	0.700	0.060	1	0.350	0.0210	2.400	
25	0.510	0.420	0.060	1	0.214	0.0128	1.860	
26	0.300	0.150	0.060	1	0.045	0.0027	0.900	
27	0.300	0.150	0.060	1	0.045	0.0027	0.900	
28	0.370	0.490	0.060	1	0.181	0.0109	1.720	
29	0.950	0.100	0.060	1	0.095	0.0057	2.100	
30	0.200	0.230	0.060	1	0.046	0.0028	0.860	
31	0.200	0.200	0.060	1	0.040	0.0024	0.800	
32	1.500	0.400	0.060	1	0.600	0.0360	3.800	
33	0.700	0.900	0.060	1	0.630	0.0378	3.200	
集計				33	9.088	0.5454	68.000	

断面修復工
鉄筋露出部数量表

番号	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	箇所	面積(m2)	体積(m3)	カッター延長(m)	備考
1	1.600	0.200	0.060	1	0.320	0.0192	3.600	
2	2.000	0.250	0.060	1	0.500	0.0300	4.500	
3	1.600	0.200	0.060	1	0.320	0.0192	3.600	
4	2.100	0.400	0.060	1	0.840	0.0504	5.000	
集計				4	1.980	0.1188	16.700	

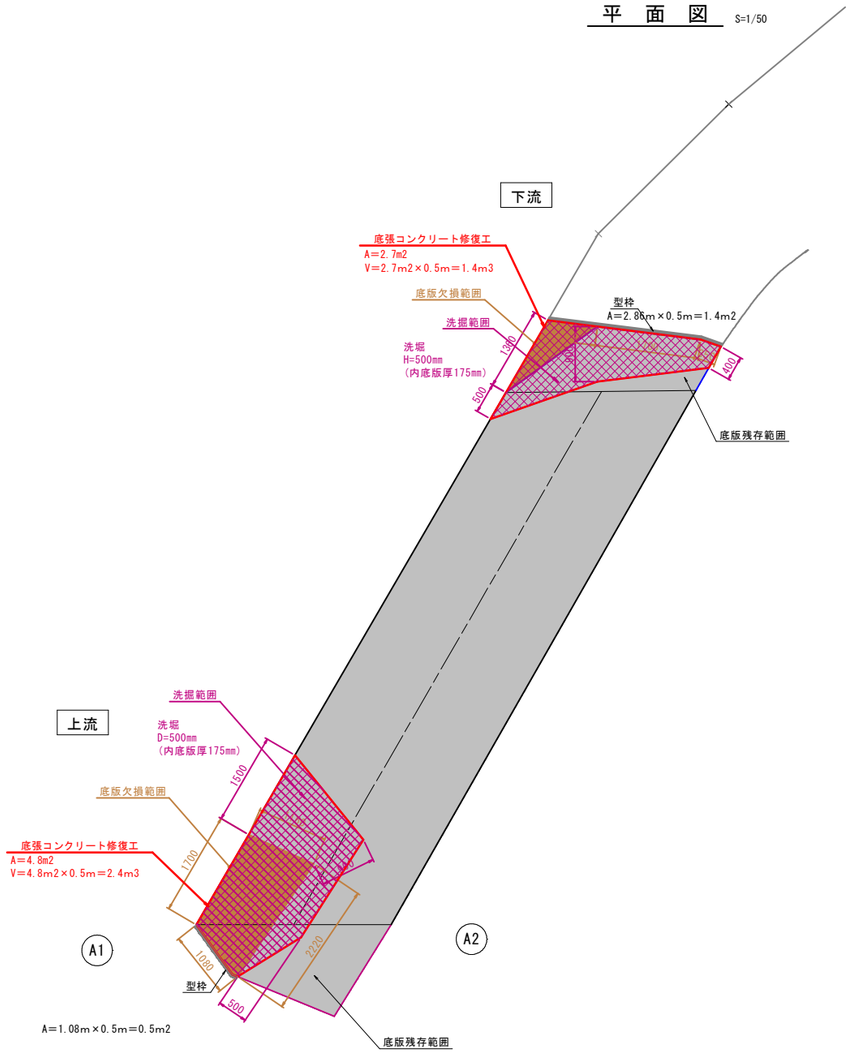
注記）
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

㊋ Ｒ８　実施　（小滝橋）

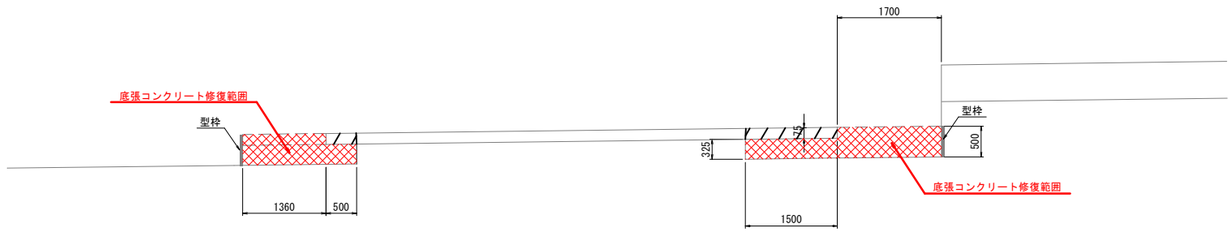
路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	小滝橋　断面修復工図		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　13		
令和　8　年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

小滝橋　底張コンクリート復旧工図

平　面　図　S=1/50



断　面　図　S=1/50



底張コンクリート修復工

箇所	面積(m2)	厚さ(m)	体積(m3)	型枠(m2)	備考
上流	4.8	0.5	2.4	0.5	
下流	2.7	0.5	1.4	1.4	
計			3.8	1.9	

注記）

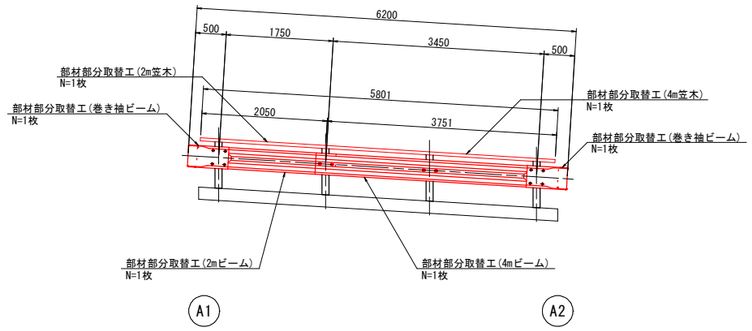
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

㊙　Ｒ８　実施　(小滝橋)

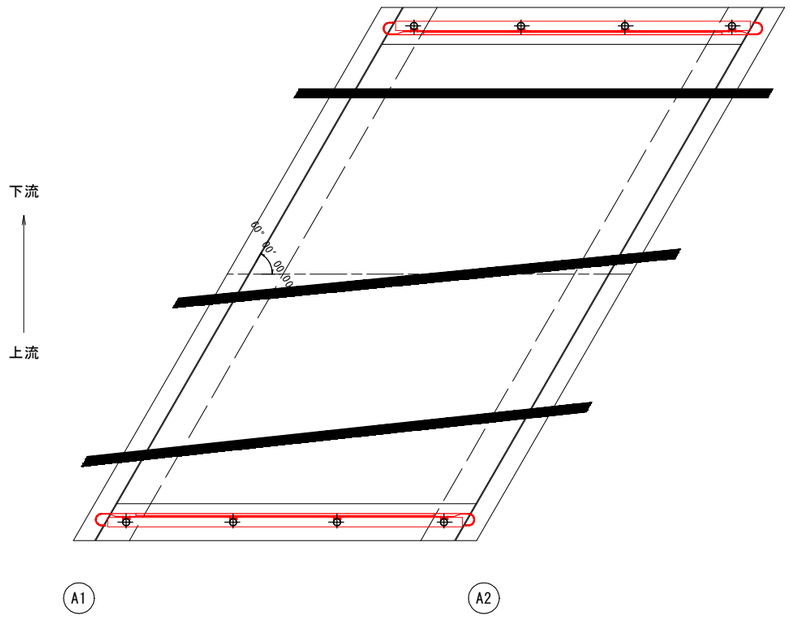
路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	小滝橋　底張コンクリート復旧工図		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　14		
令和　8　年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

小滝橋　部材部分取替工図

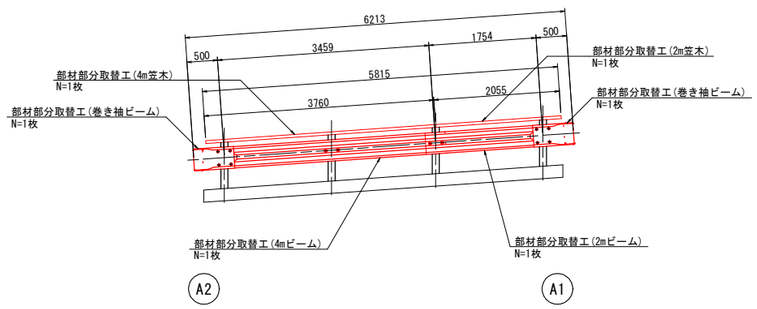
下流側側面図 S=1/50



橋面 S=1/50



上流側側面図 S=1/50



注記）

1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。
3. 著しい損傷がみられた場合は、別途発注者と協議すること。

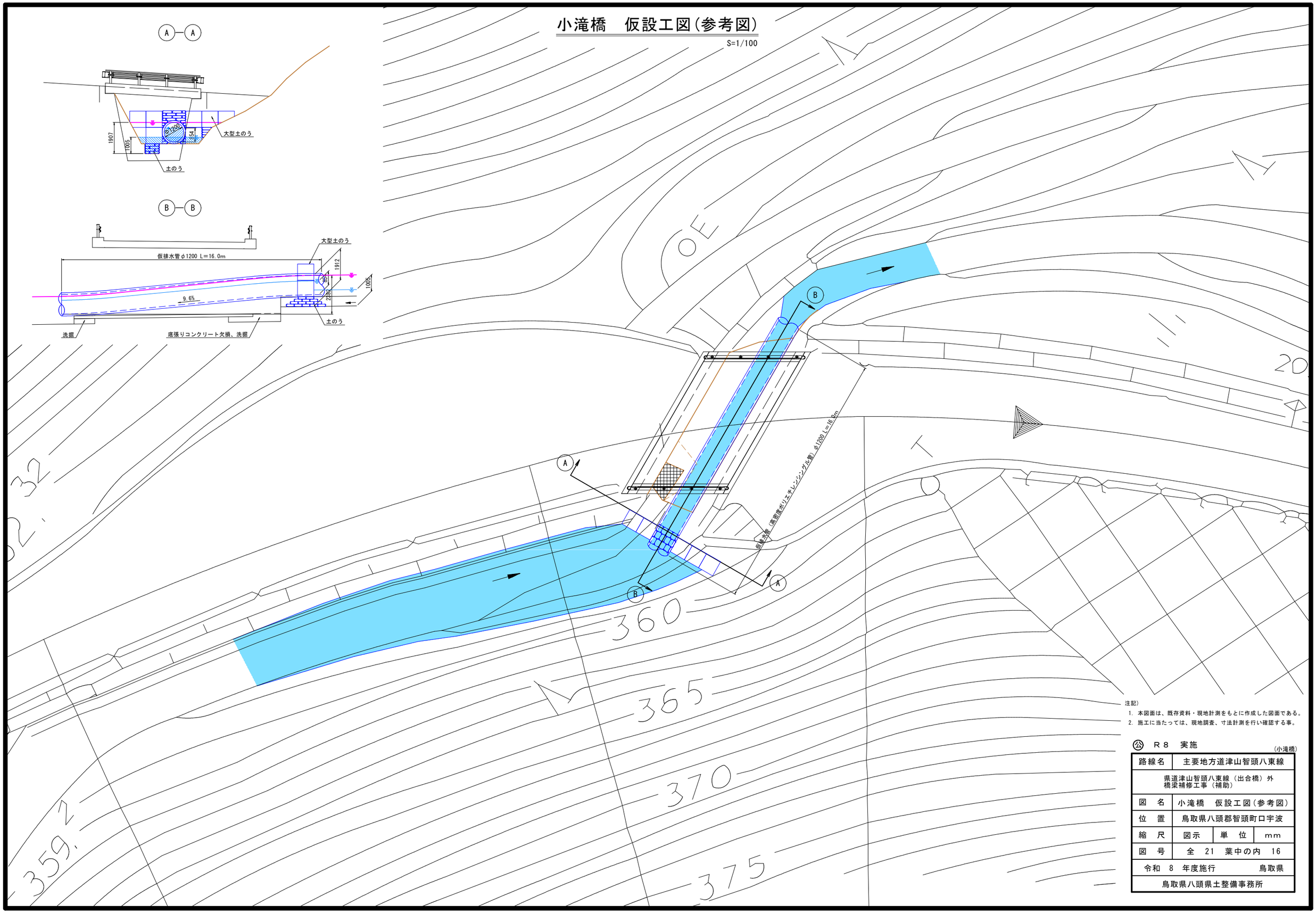
㊗ Ｒ８　実施

(小滝橋)

路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	小滝橋　部材部分取替工図		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　15		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

小滝橋　仮設工図(参考図)

S=1/100



注記）

1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。

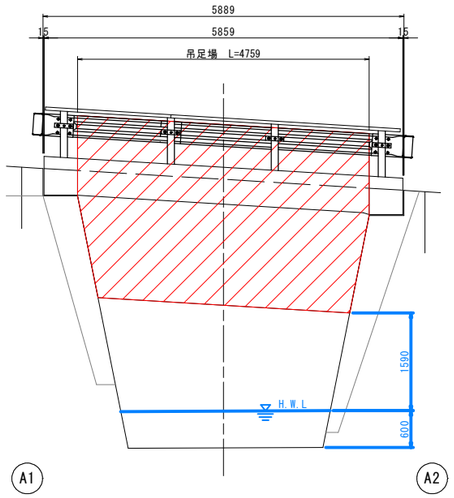
㊙ R８　実施

（小滝橋）

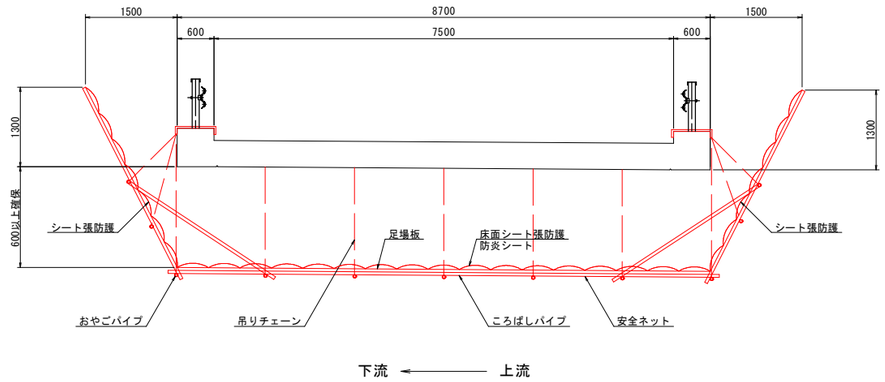
路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	小滝橋　仮設工図(参考図)		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　16		
令和　8　年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

小滝橋　仮設足場工図(参考図)

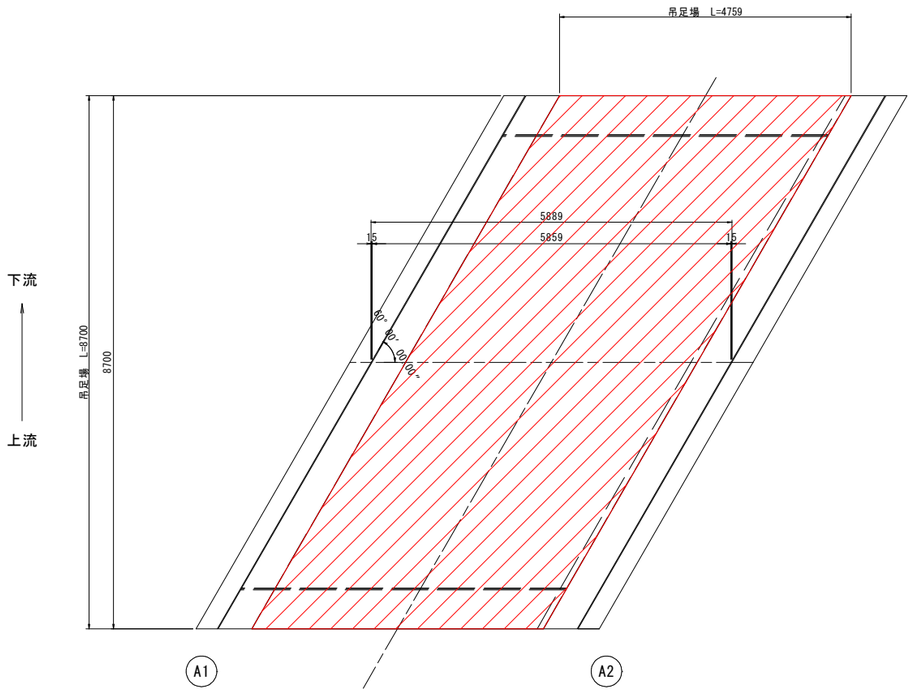
側　面　図　S=1/50



断　面　図　S=1/50



平　面　図　S=1/50



凡　例

	吊足場(タイプA1) 床面シート張防護 朝顔(タイプB) 両側 シート張防護工(タイプB) 両側

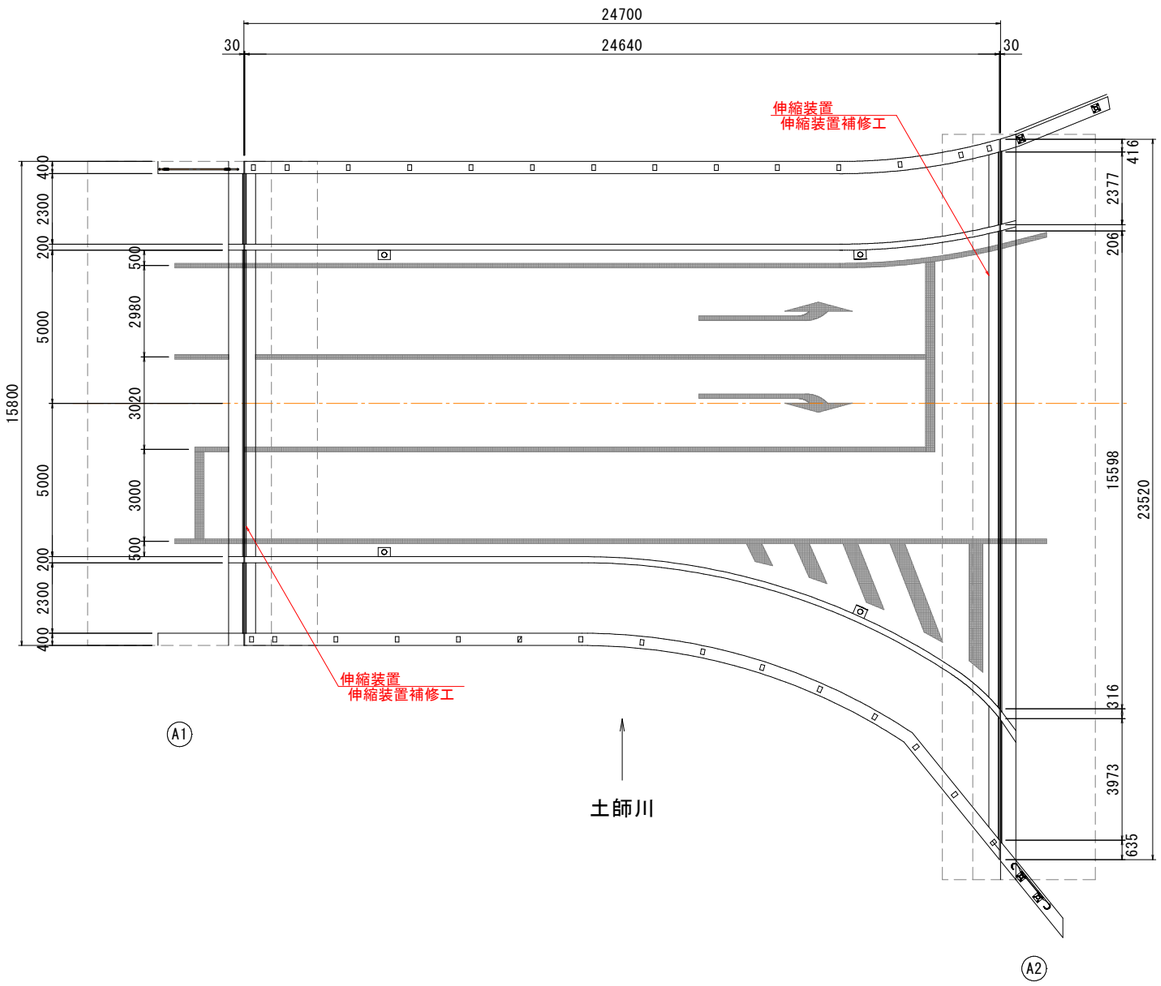
注記)
1. 本図面は、既存資料・現地計測をもとに作成した図面である。
2. 施工に当たっては、現地調査、寸法計測を行い確認する事。

㊙ R８　実施

(小滝橋)

路線名	主要地方道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	小滝橋　仮設足場工図(参考図)		
位　置	鳥取県八頭郡智頭町口宇波		
縮　尺	図示	単　位	mm
図　号	全　21　葉中の内　17		
令和　8　年度施行			鳥取県
鳥取県八頭県土整備事務所			

橋面平面図



設 計 条 件	
路 線 名	主要地方道 津山智頭八東線
架設年次	2010年（平成22年）
橋　　長	24.7 m
幅　　員	全幅:15.8m（有効幅員:15.0m）
交差条件	一級河川千代川水系 土師川
上部工形式	プレテンション方式単純Ｔ桁橋
下部工形式	
A1橋台	逆Ｔ式橋台
A2橋台	逆Ｔ式橋台
基　礎	直接基礎

［注記］
・形状寸法は，既往図書によるものではなく，限りなく近接して形状を測定し作図したものである。したがって，事前に現地を再確認（実測）し，必要に応じて適宜修正を行うこと。

補修項目一覧

部位・部材		種　別	細別(工法)	規　格	備　考
下部工	橋　台	ひび割れ補修工	ひび割れ注入工法	ポリマーセメントモルタル	
路　上	伸縮装置	伸縮装置補修工	耐摩耗性薄層舗装工	スーパーロメンパッチ同等品以上	

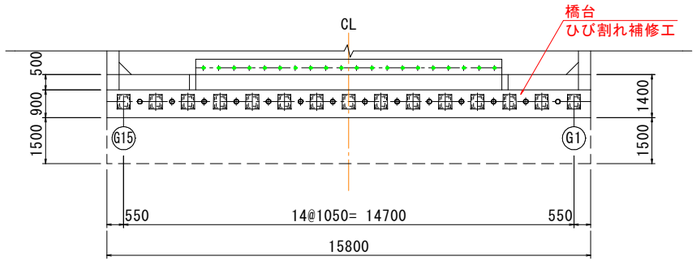
㊋　Ｒ８　実施

（愛宕橋）

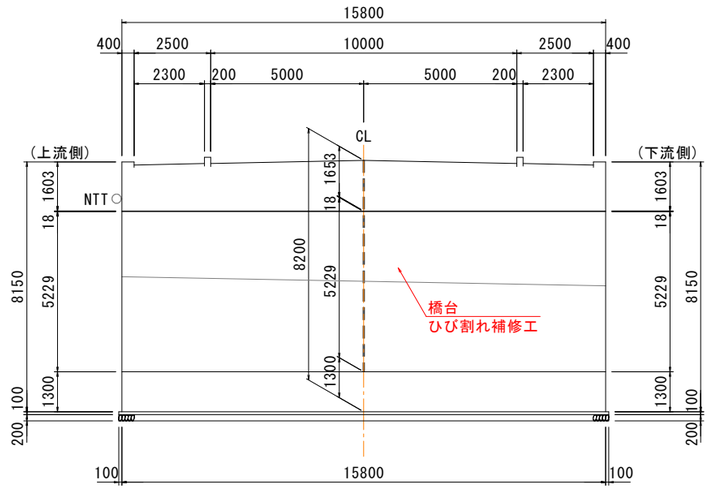
路線名	県道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図　名	補修一般図 (1/2)		
位　置	八頭郡智頭町智頭		
縮　尺	1:100	単　位	MM
図　号	全 21 葉中の内 18		
令和　8　年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

A1 橋 台
(MOVE) S=1:100

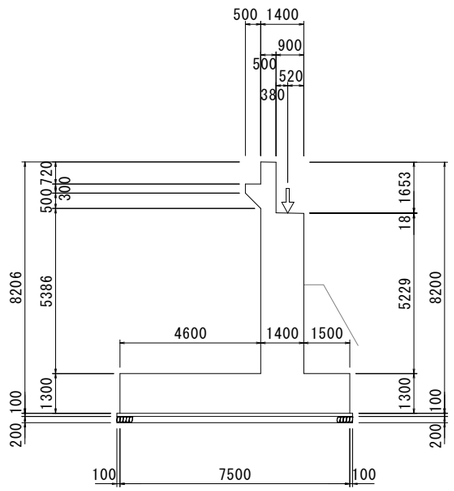
平 面 図



正 面 図

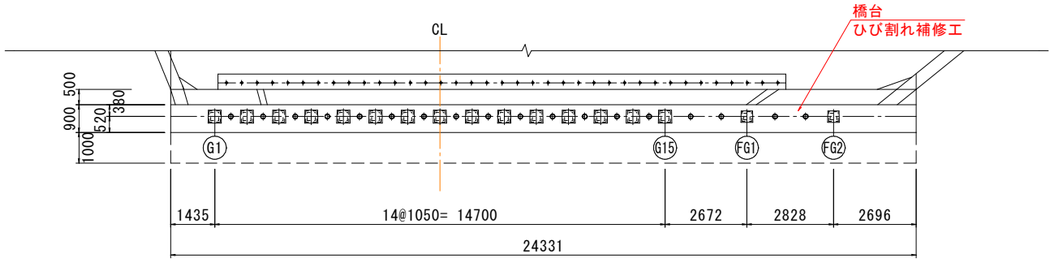


CL 断面図

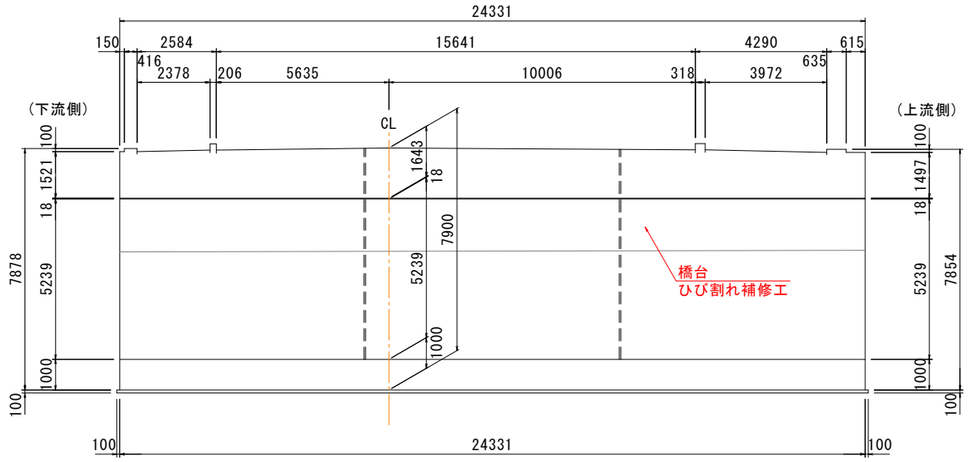


A2 橋 台
(FIX) S=1:100

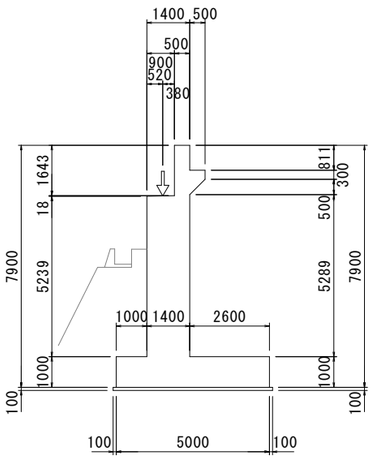
平 面 図



正 面 図



CL 断面図



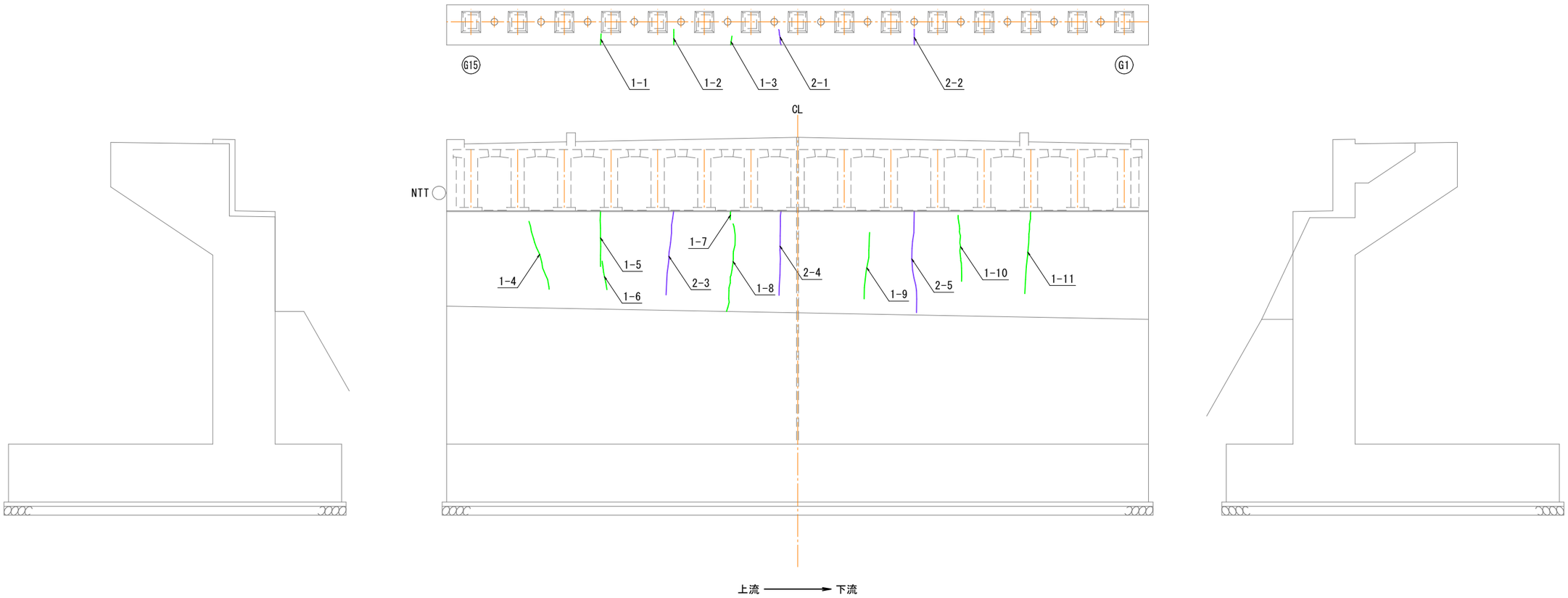
[注記]
・形状寸法は，既往図書によるものではなく，限りなく近接して形状を測定し作図したものである。したがって，事前に現地を再確認（実測）し，必要に応じて適宜修正を行うこと。

㊙ R 8 実施
(愛宕橋)

路線名	県道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図 名	補修一般図 (2/2)		
位 置	八頭郡智頭町智頭		
縮 尺	図示	単 位	MM
図 号	全 21 葉中の内 19		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

ひび割れ補修工
（低圧注入工法）

A1 橋 台



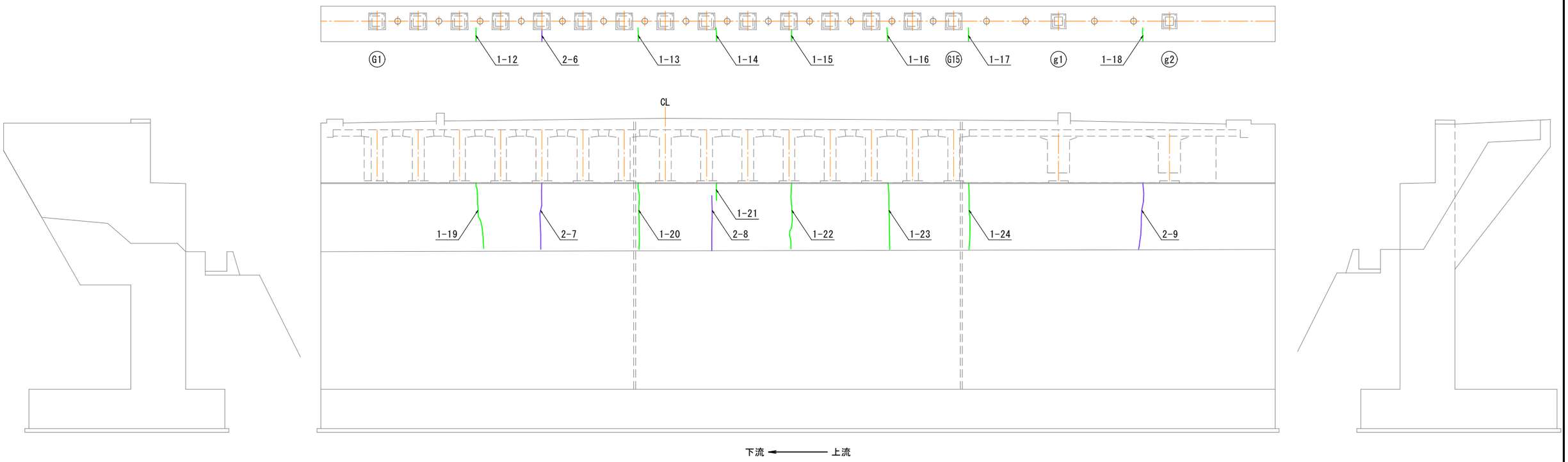
㊀ R８ 実施

（愛宕橋）

路線名	県道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図 名	補修計画図(1/3)		
位 置	八頭郡智頭町智頭		
縮 尺	1:50	単 位	MM
図 号	全 21 葉中の内 20		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			

ひび割れ補修工
（低圧注入工法）

A2 橋 台



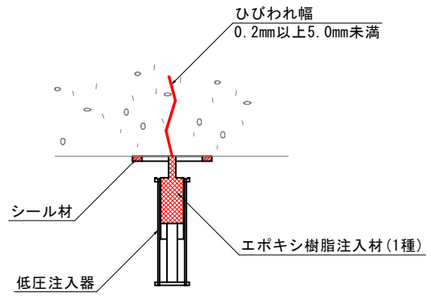
（ひび割れ幅0.2～0.5mm未満）

A1橋台		A2橋台	
箇 所	長さ（m）	箇 所	長さ（m）
1- 1	0.25	1-12	0.35
1- 2	0.35	1-13	0.35
1- 3	0.20	1-14	0.35
1- 4	1.60	1-15	0.30
1- 5	1.25	1-16	0.35
1- 6	0.65	1-17	0.35
1- 7	0.20	1-18	0.35
1- 8	2.00	1-19	1.70
1- 9	1.50	1-20	1.70
1-10	1.50	1-21	0.45
1-11	1.85	1-22	1.70
		1-23	1.70
		1-24	1.70
小 計	11.35	小 計	11.35
合 計			22.70

（ひび割れ幅0.5～1.0mm未満）

A1橋台		A2橋台	
箇 所	長さ（m）	箇 所	長さ（m）
2- 1	0.35	2- 6	0.30
2- 2	0.35	2- 7	1.70
2- 3	1.90	2- 8	1.40
2- 4	1.90	2- 9	1.70
2- 5	2.30		
小 計	6.80	小 計	5.10
合 計			11.90

低圧注入工法
NonScale



【注記】
- 施工に先立ち、コンクリート表面の析出物、ほこり等をサンダーケレン、高圧洗浄などで十分に除去する。
- 遊離石灰を伴うひびわれは、ひびわれ部分が遊離石灰で閉塞しているため、補修対象外とする。
- ひび割れ幅5.0mm未満であっても、ひび割れが背後まで貫通している場合は充填工法を用いることとする。

施工手順フロー（参考）

ひびわれ部の清掃
⇩
注入孔の設置
⇩
シール材塗布及び注入器具取付
⇩
注入材の注入（追加注入含む）
⇩
シール材及び注入器具の撤去
⇩
仕 上 げ

㊗ R８ 実施
（愛宕橋）

路線名	県道津山智頭八東線		
県道津山智頭八東線（出合橋）外 橋梁補修工事（補助）			
図 名	補修計画図(2/3)		
位 置	八頭郡智頭町智頭		
縮 尺	1:50	単 位	MM
図 号	全 21 葉中の内 21		
令和 8 年度施行		鳥取県	
鳥取県八頭県土整備事務所			